

VENTOSan シリーズ

施工要領書

- installation manual -



日本国内専用品
Use Only in Japan

- このたびは第一種熱交換換気システム「ヴェントサン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 納品後、配送時の破損が見つかった場合は2週間以内にご連絡ください。
- 施工要領書は web でも閲覧可能です。
- 取扱説明書・施工要領書 QR コード→



目 次

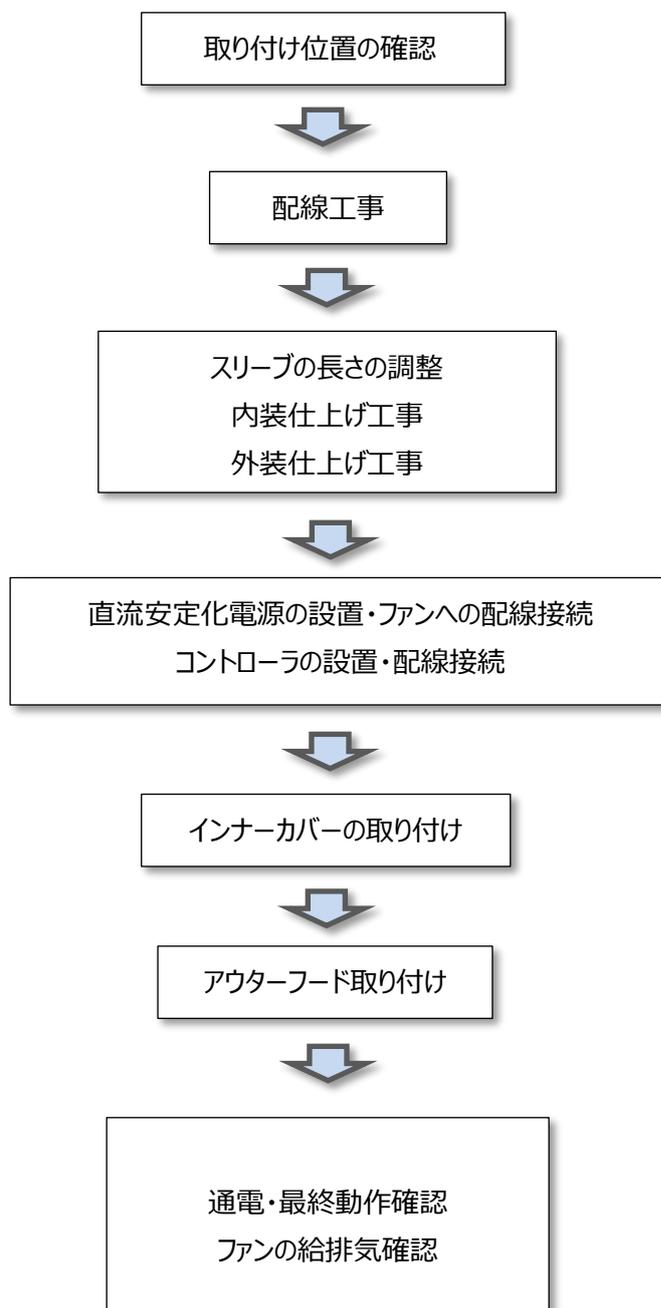
1.	施工フロー	2
2.	事前準備	3
3.	JW SP	4
3-1.	ケーブルの配線	5
3-2.	スリーブ	5
3-2-1.	設置位置の決定	5
3-2-2.	スリーブの長さ	5
3-3.	本体の設置	5
3-3-1.	本体設置(配管支持金具)	5
3-3-2.	本体設置(木下地組)	7
3-3-3.	本体への配線	8
3-4.	インナーカバーの取り付け	9
3-5.	外壁の断熱気密仕上げとアウターフード各種の取り付け	10
3-5-1.	アウターフード S150 の取り付け	10
3-5-2.	アウターフードコンパクト・コンパクト XL の取り付け	10
4.	ZERO	12
4-1.	ケーブルの配線	13
4-2.	スリーブ	14
4-2-1.	設置位置の決定	14
4-2-2.	スリーブの長さ	14
4-3.	本体の設置	15
4-3-1.	本体設置(木下地組)	15
4-3-2.	本体への配線	18
4-4.	インナーカバーの取り付け	19
4-4-1.	インナーカバー 施工方法	19
4-5.	外壁の断熱気密仕上げとアウターフードの取り付け	21
4-5-1.	アウターフードの取り付け	21
5.	TWIN	23
5-1.	部品の詳細	24
5-2.	ケーブルの配線	24
5-3.	スリーブ	25
5-3-1.	スリーブの設置場所の決定	25
5-3-2.	スリーブの長さ	25
5-4.	ヴェントサン本体の設置	26

5-4-1. 本体設置（木下地組）	26
5-4-2.スリーブ内部取り付け	29
5-5. 給・排気の初期設定	30
5-6. インナーカバーの取り付け	31
5-6-1. インナーカバーの取り外し.....	31
5-6-2. インナーカバー(TWIN 専用) 施工方法.....	31
5-7. 外壁の断熱気密仕上げとアウターフード各種の取り付け	33
5-7-1. アウターフードの取り付け	33
6. 防火仕様.....	35
6-1. 防火ダンパーの構造	35
6-2. JW SP 防火仕様の施工方法	35
6-3. ZERO 防火仕様の施工方法.....	36
7. テクニカルデータ	37
8. 断面図.....	38
9. アウターフード各種図面	39

◆安全に取り付けを行うため、以下の項目をお守りください。

- 取り付けを行う前に、必ず施工手順をお読みください。
- 取り付けの際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 感電や火災などのトラブルの原因になりますので、製品に水等をかけないでください。
- 落下やケガの原因になりますので、各種部品がしっかり取り付けられているか確認してください。
- 有資格者以外は、取り付け・接続・及び初回運転を行わないでください。
- 機器やシステムを変更および改造しないでください。
- このシステムが問題なく安全に機能するには、適切な輸送・保管・取り付け・操作およびメンテナンスが前提条件となります。

1. 施工フロー



2. 事前準備

本施工前に下記の工具等の準備をしてください。

- a. ドリル
- b. カッターナイフ
- c. ドライバー
プラスドライバー数種類
マイナスドライバー(−6 mm・−2.5 mm)
- d. 水性コーキング、コーキングガン
- e. プライヤー
- f. ホールソー(68 mm)
※内壁の種類によっては、カッターナイフなどでも可能です。
- g. 気密テープ
- h. 気密用両面テープ(50 mm以上)
- i. コーキング用バックアップ材(15 mm φ15 mm 約 1.2m/個)
- j. GL ボード用アンカー
- k. スリーブを切断できる工具(スリーブ/φ160 mm・厚み 3 mm)
- l. 配管支持金具(サドルバンド/厚サドル A1043 1 A150 等)
- m. 各種ビス
- n. 一液性ウレタンフォーム

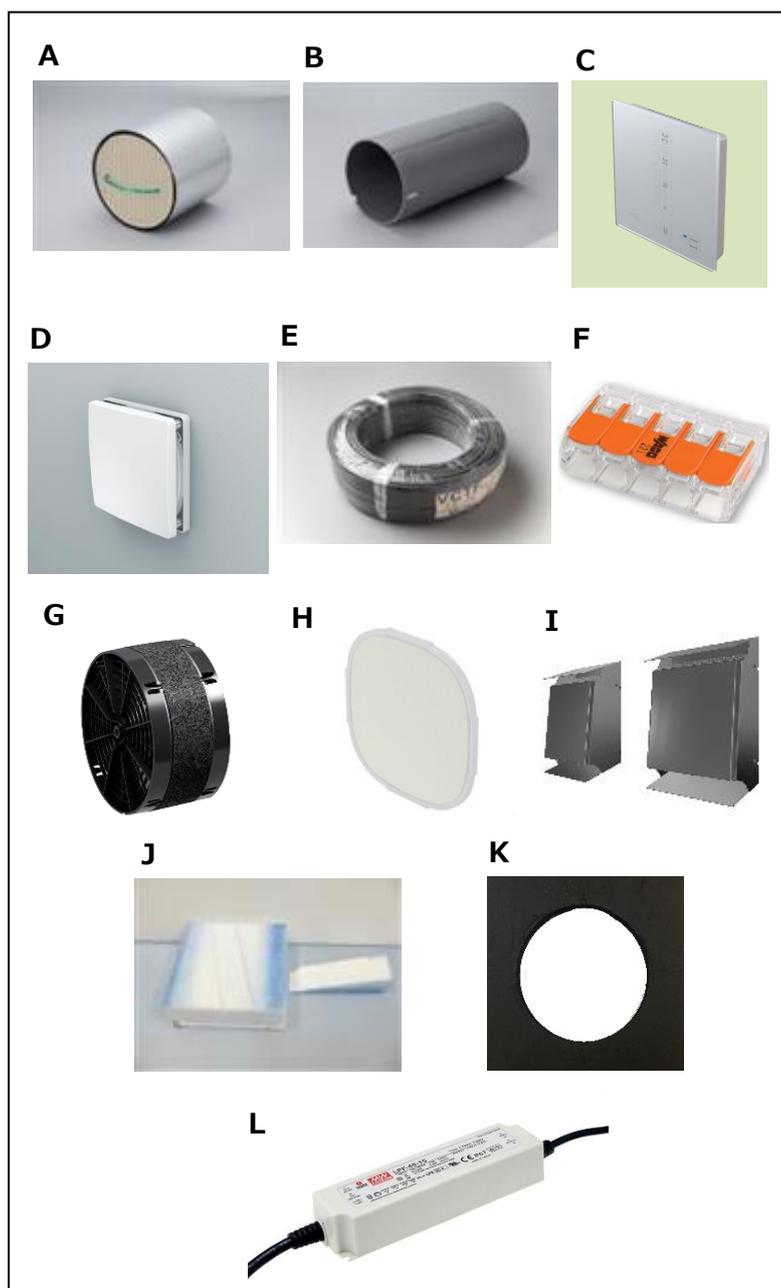
3. JW SP

納品後に、必ず下図の部品をご確認ください。

部品はそれぞれのタイプにより大きさや形が異なります。

また、予告なしに部品形状が変わることがあります。

- A. 蓄熱エレメント
- B. スリーブ
- C. コントローラ sMove
(別紙「コントローラ施工要領書」参照)
- D. インナーカバー
- E. 三芯ケーブル(オプション)
- F. ワンタッチコネクター
- G. 換気ファン
- H. フィルター(インナーカバー同梱)
- I. 各種アウターフード
 - ・S150 ※分納
 - ・コンパクト
 - ・コンパクト XL
 - ・フレックス 150
- J. 本体固定用 EPS クサビ
- K. エアofフレックスディスク(オプション)
- L. 直流安定化電源

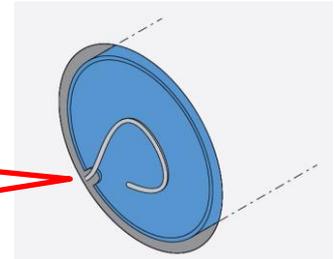


3-1. ケーブルの配線

同送しているコントローラ施工要領書をご確認ください。

3-2. スリーブ

切り欠きからケーブルを出しておく



3-2-1. 設置位置の決定

高さ：FL+1,800 mm以下を推奨します。(メンテナンス時に手が届く範囲での設置を推奨)

3-2-2. スリーブの長さ

※防火仕様の場合は 5-1 防火仕様を参照ください。

SP	：ファン(110 mm)+エレメント(長さ 150 mm) =260 mm
JW	：ファン(80 mm)+エレメント(長さ 100 mm) =180 mm

また、アウターフードの種類によって外壁仕上げ面からの突出長さが違います。

【アウターフードの種類】

コンパクト : 外壁仕上げ面から約 45 mmの長さを確保し切り落とします。

コンパクト XL : 外壁仕上げ面から約 95 mmの長さを確保し切り落とします。

フレックス 150 : 外壁仕上げ面から約 10 mmの長さを確保し切り落とします。

S150 : 外壁仕上げ面から約 30 mm～50 mmの長さを確保し切り落とします。

※S150 施工時は、蓄熱エレメントストッパーテープ(右図)をスリーブの外部側端にシールしてください。



3-3. 本体の設置

※本体のスリーブ管には決して**ビスなどを打ち付けないでください。**

スリーブ管が変形し、蓄熱エレメントが取り出せなくなる可能性があります。

3-3-1. 本体設置(配管支持金具)



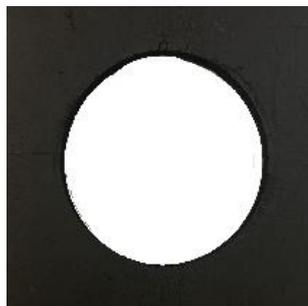
- a. 施工時に、あらかじめ各ヴェントサン設置箇所に配線、設置位置に配管支持金物をゆるくビス止めします。
- b. 外壁構造用合板に $\phi 165$ mm以上の穴を開けます。
- c. 勾配(1%≒1/50)をつけて、スリーブの欠き込みがある方を室内側にして差込みます。
- d. 本体固定用の EPS クサビで、対角の 4 か所にスリーブを仮固定します。
- e. スリーブは室内側の仕上げ面と同じ、もしくは室内側 + 10 mm以内に合わせてください。石膏ボードよりもスリーブが奥にならないように取り付けてください。
- f. 仮固定が終わりましたら、充填断熱材施工時に木枠内に断熱材を充填してください

※断熱材の充填は断熱欠損がでないようにしっかりと行ってください。

断熱欠損ができると熱交換効果の低下や結露の原因となります。

事前に蓄熱エレメント→換気ファンの順にスリーブにセットしてから、ウレタンフォームを注入してください。強く注入しすぎると発泡圧や二次発泡でスリーブを歪めることがあります。また、ウレタンフォームを内壁奥まで注入すると反応する水分がなくなり未発泡のままで壁体内に残り、夏季などの高温時に未発泡の原液が二次発泡し、スリーブや壁面を圧迫することがありますので、注入作業は注意してください。

- g. 必要に応じて気密シートを施工してください。
- h. スリーブの位置を確認し、内壁石膏ボードに 170 mm～180 mm角の穴を開け、石膏ボードを施工してください。
- i. ケーブルを出した後に、石膏ボードの開口部とスリーブ周りをシールしてください。
- j. 通気層工法の場合、同梱のエアロフレックスディスク(下図:オプション品)を通気層にはめ込んでください。通気層を断熱層にできます。
- k. 一度セットした換気ファン・蓄熱エレメントを取り外し、再セットして挿入が可能なことをチェックしてください。



エアロフレックスディスク



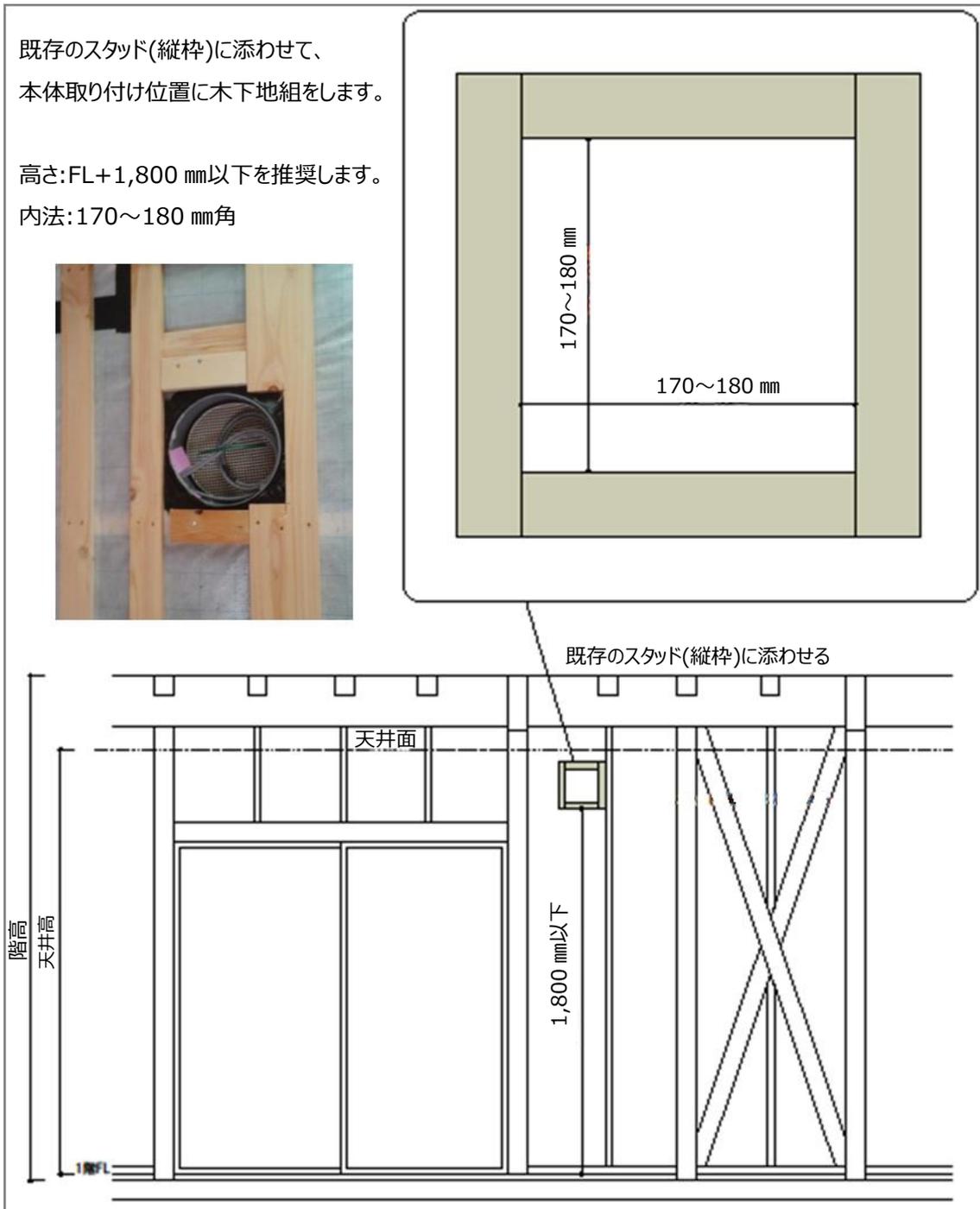
※一度セットした換気ファン・蓄熱エレメントを取り外し、再セットしてメンテナンスが可能なことをチェックしてください。

3-3-2. 本体設置(木下地組)

- ① 施工前に、各ヴェントサン設置箇所に配線をしておいてください。

(別紙「コントローラ施工要領書」参照)

間柱に添わせて、本体取り付け位置に木下地組をします。(内法:170 mm角以上)



- ② 3 芯配線を木下地組とスリーブの隙間から出るようにします。
スリーブに欠き込みがされている箇所にケーブルを通します。
- ③ 勾配(1%≒1/50)をつけて、外壁構造用合板に $\phi 165$ mm以上の穴を開けます。
- ④ スリーブの欠き込みがある方を室内側にして差込みます。
- ⑤ 本体固定用の EPS クサビで、対角の 4 か所にスリーブを仮固定します。
- ⑥ **スリーブは室内側の仕上げ面と同じ、もしくは室内側 + 10 mm以内に合わせてください。**
石膏ボードよりもスリーブが奥にならないように取り付けてください。
- ⑦ 仮固定が終わりましたら、充填断熱材施工時に木枠内に断熱材を充填してください。

※断熱材の充填は断熱欠損がでないようしっかりと行ってください。

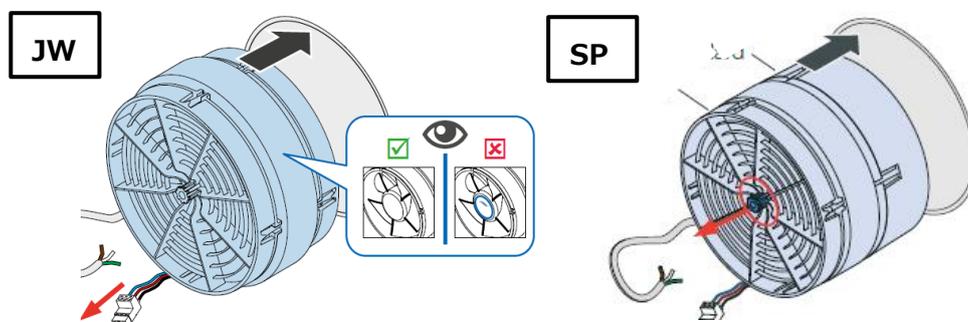
断熱欠損ができると熱交換効果の低下や結露の原因となります。

事前に蓄熱エレメント→換気ファンの順にスリーブにセットしてから、ウレタンフォームを注入してください。また、強く注入しすぎると発泡圧や二次発泡でスリーブを歪めることがあります。また、ウレタンフォームを内壁奥まで注入すると反応する水分がなくなり未発泡のまま壁体内に残り、夏季などの高温時に未発泡の原液が二次発泡し、スリーブや壁面を圧迫することがありますので、注入作業は注意をしてください。

- ⑧ 必要に応じて気密シートを施工してください。
- ⑨ スリーブの位置を確認し、内壁石膏ボードに 170 mm～180 mm角の穴を開け、石膏ボードを施工してください。
- ⑩ ケーブルを出した後、**石膏ボードの開口部とスリーブ周りをシール**してください。
- ⑪ 通気層工法の場合は、同梱のエアロフレックスディスク(オプション品 P6 参照)を通気層にはめ込んでください。通気層を断熱層にできます。
- ⑫ 一度セットした換気ファン・蓄熱エレメントを取り外し、再セットして挿入が可能なことをチェックしてください。

3-3-3. 本体への配線

スリーブに蓄熱エレメント→ファンの順に挿入し、ファンのコネクターと 3 芯ケーブルを接続して完成です。(別紙「コントローラ施工要領書」参照)



※JW ファンの室内側は、インヴェンターのシールが貼っていない方です。

SP ファンの室内側は、**ブレードの薄い方**です。

3-4. インナーカバーの取り付け

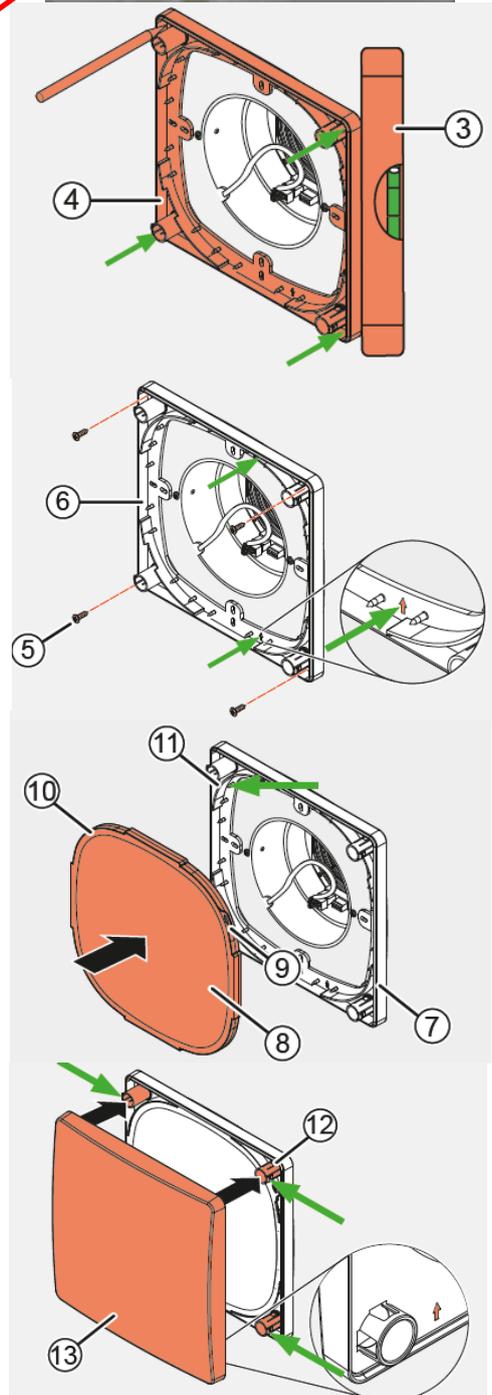
<施工手順>

- ① カバーを外します。

※ご注意※

カバーを外す際は、4つあるスペーサーの外側にあるツメを**必ず**指で押しながら外してください。
無理に外すと、スペーサーの足が折れる可能性があります。

- ② ベースプレートとスリーブの中心を合わせます。
- ③ 水平を確認し、ビス穴をマークします。
穴は、Φ6 mmで 30 mm以上の間隔をあけてください。
- ④ 付属のビスで壁に取り付けます。
その際、右図**緑矢印部**に矢印の記載があります。
矢印が**上向き**になるよう取り付けてください。
- ⑤ 右図**⑪**ベースプレートに**⑧**標準フィルターを取り付けます。
⑩フィルター周囲のラバー部分を⑪に合わせて取り付けます。
- ⑥ フィルターとベースプレートとの隙間が無いか確認してください。
隙間があると、フィルターが正常に機能しません。
- ⑦ カバーをスペーサーに合わせます。
- ⑧ スペーサーのサイドのツメを押しながらはめ込みます。
カバーを押し閉じます。



3-5. 外壁の断熱気密仕上げとアウターフード各種の取り付け

外壁施工前に、スリーブの奥に断熱材の充填、バックアップの上にシーリングし、さらに気密テープを施工して外気や雨滴が進入しないようにしてください。



※湿式仕上げの場合、断熱材に直接ビスで取り付けできませんので、当社支給(有償)の外断熱用断熱ピンをお使いください。

3-5-1. アウターフード S150 の取り付け

アウターフード S150 は分納の為、施工要領書はアウターフードの梱包に同梱されています。

フレックス 150 の施工は、4-7 外壁の断熱気密仕上げとアウターフードの取り付けをご参照ください。



S150



フレックス 150

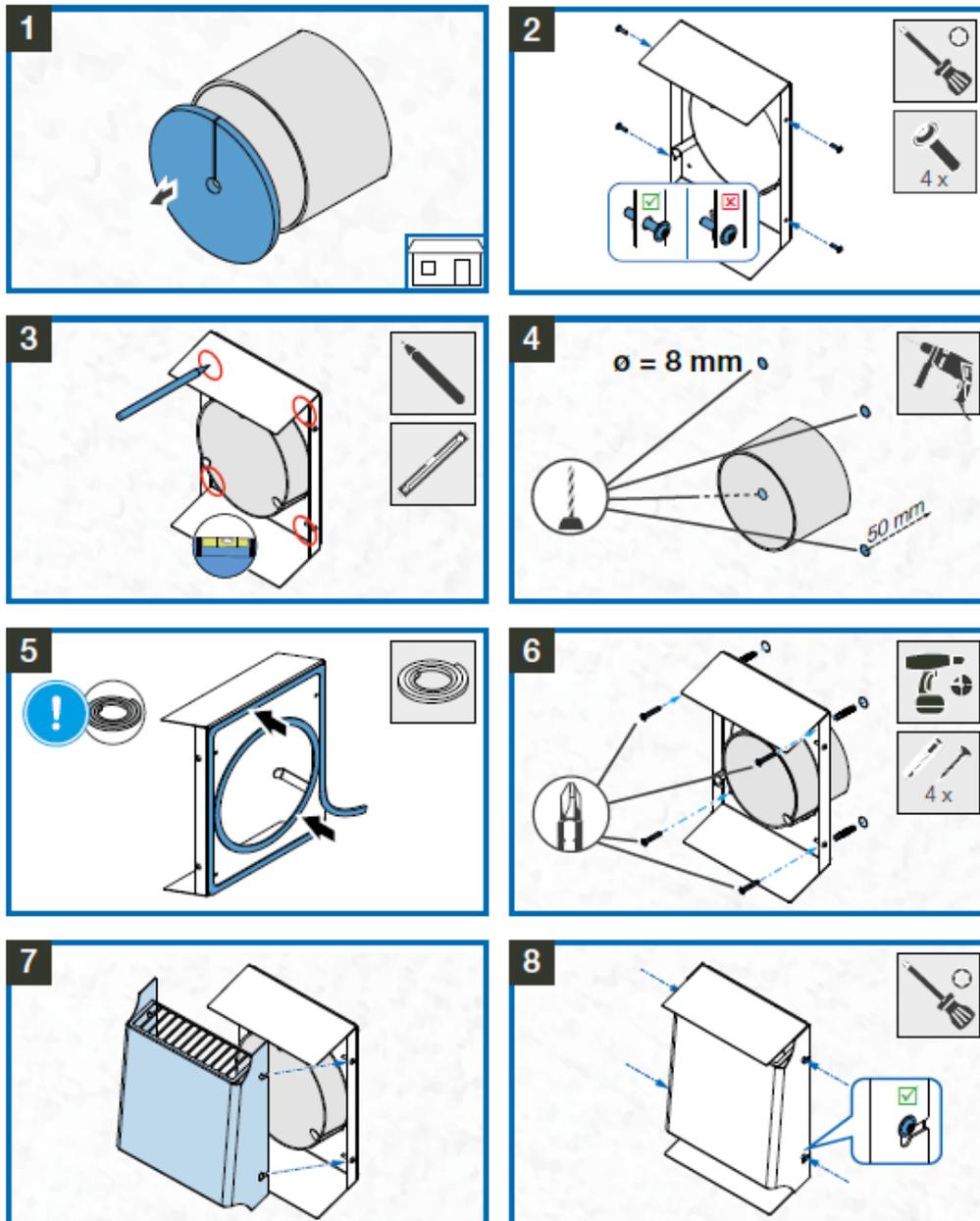
3-5-2. アウターフードコンパクト・コンパクト XL の取り付け



コンパクト

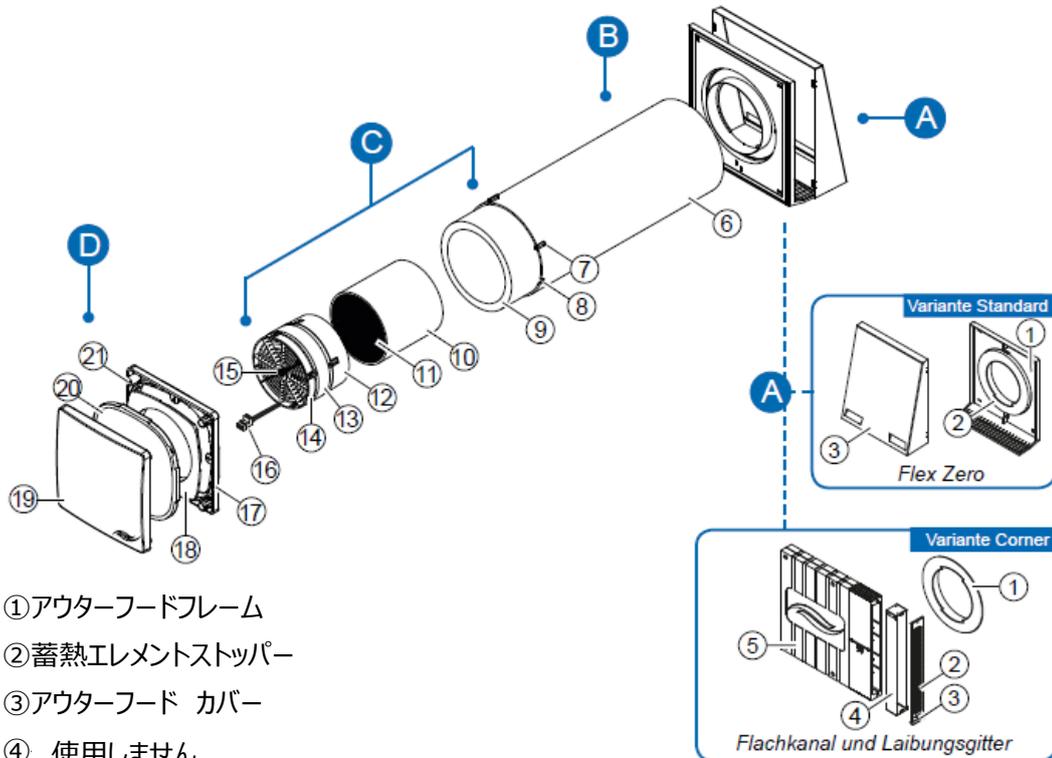


コンパクト XL



- ① スリーブの養生を剥がします。
- ② カバーとフレームを外し、ビスを緩めに取り付けます。
- ③ 平衡器で平衡をとりマーキングします。
- ④ ビス穴を開け、湿式外断熱の場合は、アンカーを取り付けます。
- ⑤ 付属のウレタンテープをフレーム裏に貼り、漏水を防ぎます。
- ⑥ フレームを取り付けます 上と横はシーリングで漏水を防ぎます。
- ⑦ カバーを緩めに取り付けしたビスに引っ掛けるように取り付けます。
- ⑧ ビスをしっかりと固定させます。

4. ZERO



- ①アウターフードフレーム
- ②蓄熱エレメントストッパー
- ③アウターフード カバー
- ④ 使用しません
- ⑤ 使用しません
- ⑥スリーブ
- ⑦インナーカバー固定用ナット
- ⑧配線用掻き込み
- ⑨防音パッド
- ⑩蓄熱エレメント
- ⑪熱交換素子
- ⑫ファン(スタンダードブレード部分)
- ⑬ファン
- ⑭ファン(スリムブレード部分)
- ⑮ファン持ち手
- ⑯コネクター(配線接続端子)
- ⑰インナーカバーフレーム
- ⑱カバープレート
- ⑲インナーカバー
- ⑳フィルター
- ㉑スペーサー

パーツ詳細：予告なしに部品形状が変わることがあります。

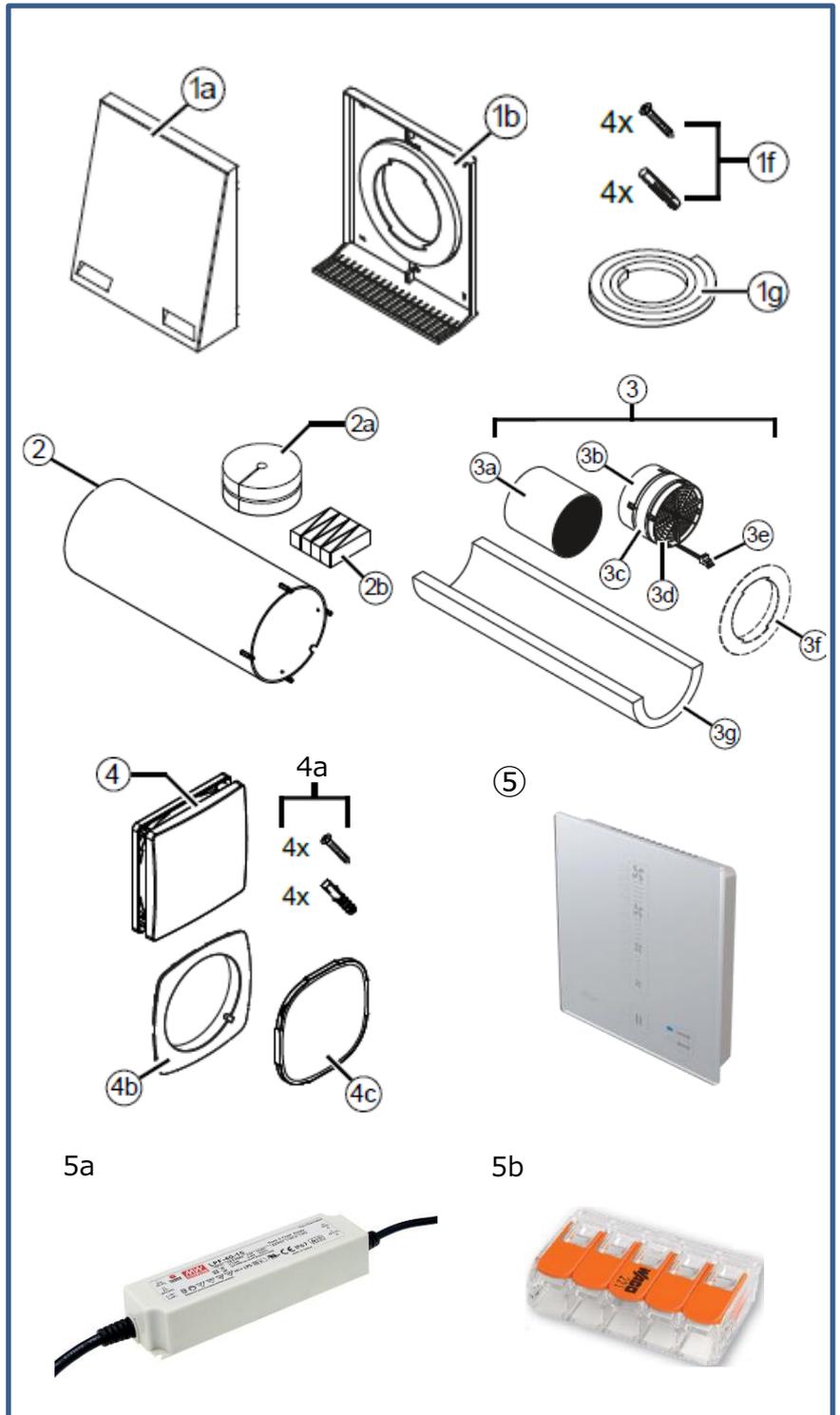
- 1a. アウターフードカバー
- 1b. アウターフードフレーム
- 1f. アウターフード用ビス
- 1g. シーリングテープ

- 2. スリーブ
- 2a. 歪み防止用 EPS
- 2b. 本体固定用 EPS クサビ

- 3. スリーブ内部パーツ
- 3a. 蓄熱エレメント
- 3b. ファン(ブレード外部側)
- 3c. ファン
- 3d. ファン(ブレード室内側)
- 3e. コネクター(配線接続端子)
- 3f. リングインサート
(アウターフードのパーツ)
- 3g. 防音パッド

- 4. インナーカバーフレア ZERO
- 4a. ビス
- 4b. カバープレート
- 4c. 標準フィルター

- 5. コントローラ sMove
- 5a. 直流安定化電源
- 5b. ワンタッチコネクター



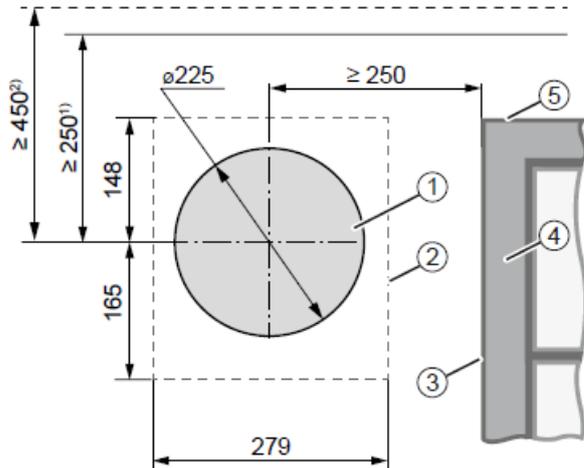
4-1. ケーブルの配線

同送しているコントローラ施工要領書をご確認ください。

4-2. スリーブ

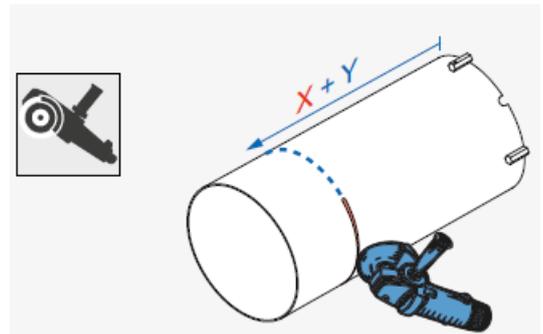
4-2-1. 設置位置の決定

高さ：FL+1,800 mm以下を推奨します。(メンテナンス時に手が届く範囲での設置を推奨)

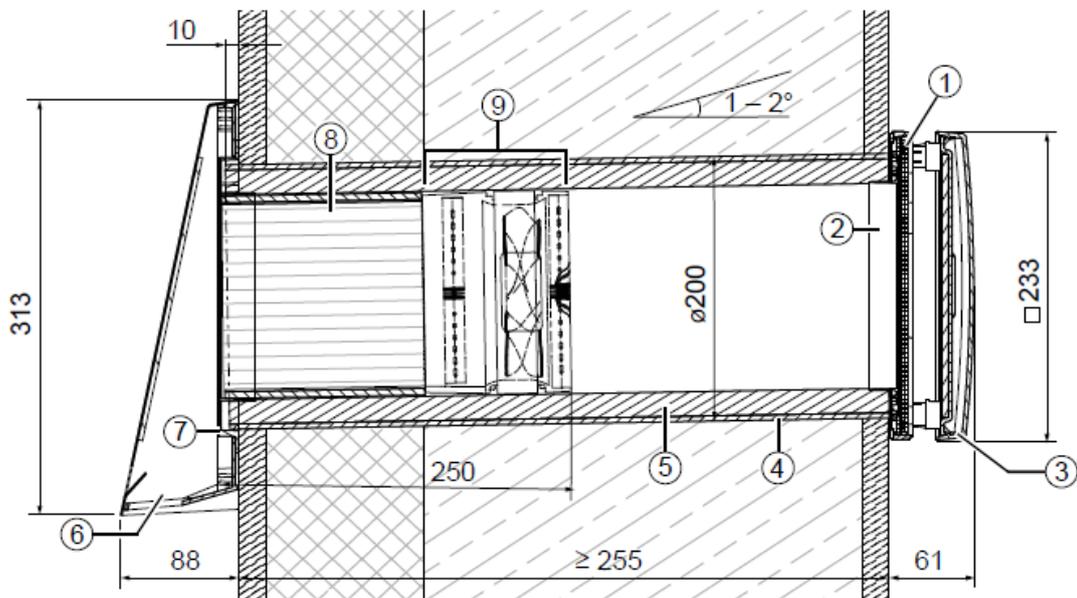


4-2-2. スリーブの長さ

495 mmあるスリーブは、室内側石膏ボード面から、外壁面までの長さプラス 10 mmでカットしてください。
 ※防火仕様の場合は、外壁面までの長さでカットしてください。(詳しくは項目 5-3 を参照)
 ※必ずネジがついていない側をカットしてください。



ZERO 断面図



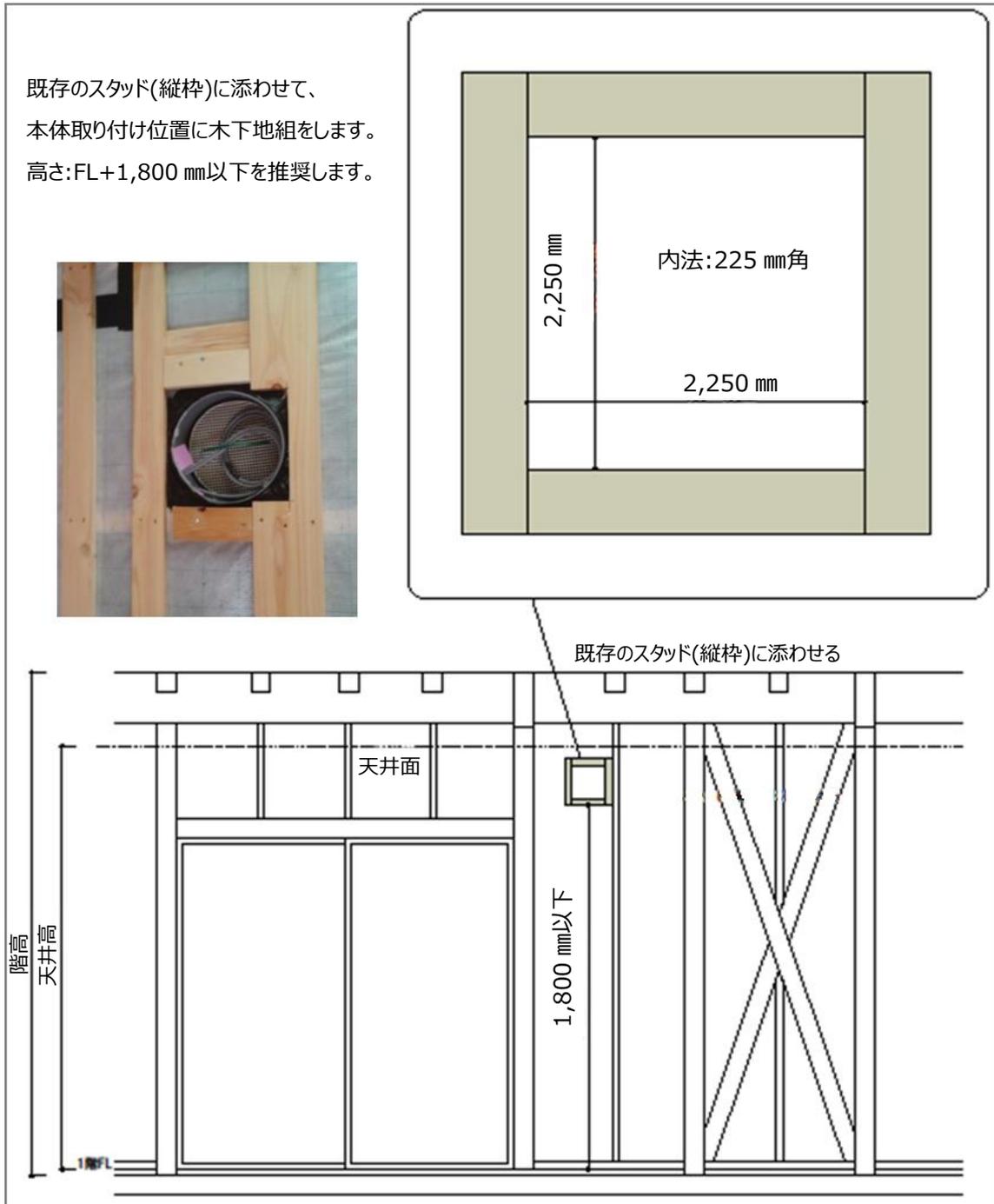
4-3. 本体の設置

4-3-1. 本体設置(木下地組)

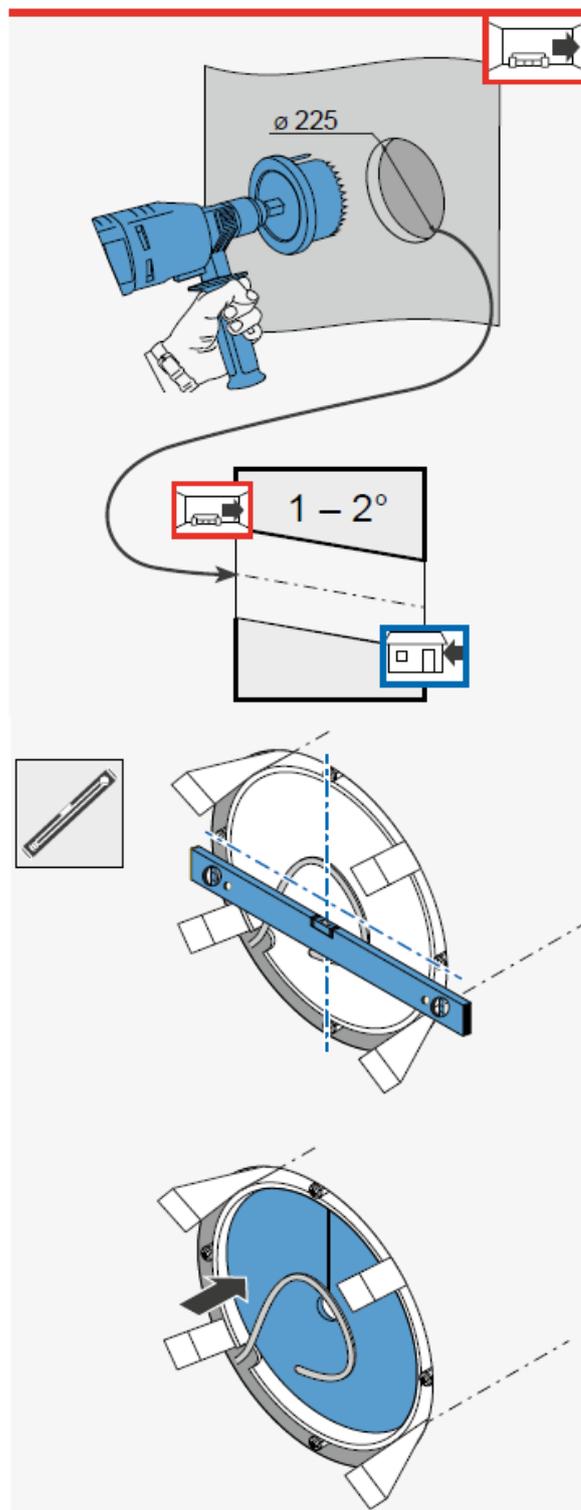
- ① 施工前に、各ヴェントサン設置箇所に配線をしておいてください。

(別紙「コントローラ施工要領書」参照)

間柱に添わせて、本体取り付け位置に木下地組をします。(内法:225 mm角)



- ② 3 芯配線を木下地組とスリーブの隙間から出るようにします。
スリーブに欠き込みがされている箇所にケーブルを通します。
- ③ 勾配(1-2%)をつけて位置を決定し、外壁構造用合板に $\phi 225$ mmの穴を開けます。
- ④ スリーブの欠き込みがある方を室内側にして差込みます。
- ⑤ **スリーブは室内側仕上げ面と同じにし、外壁面から 10 mm出してください。**
- ⑥ スリーブ周囲の断熱工事として木枠内部にイソシアヌレート(ウレタン)フォームを充填して気密処理をする際に、スリーブの固定用ナットが平行になるように確認してください。
- ⑦ スリーブの位置を確認し、内壁石膏ボードに 225 mm角の穴を開けます。
- ⑧ 再度平行器を使用し、インナーカバー固定用ナットを平行にし、2b 本体固定用の EPS クサビで対角の 4 か所にスリーブを固定します。
- ⑨ 2a 歪み防止用 EPS をスリーブに挿入して、ウレタンの充填でスリーブが歪まないようにします。

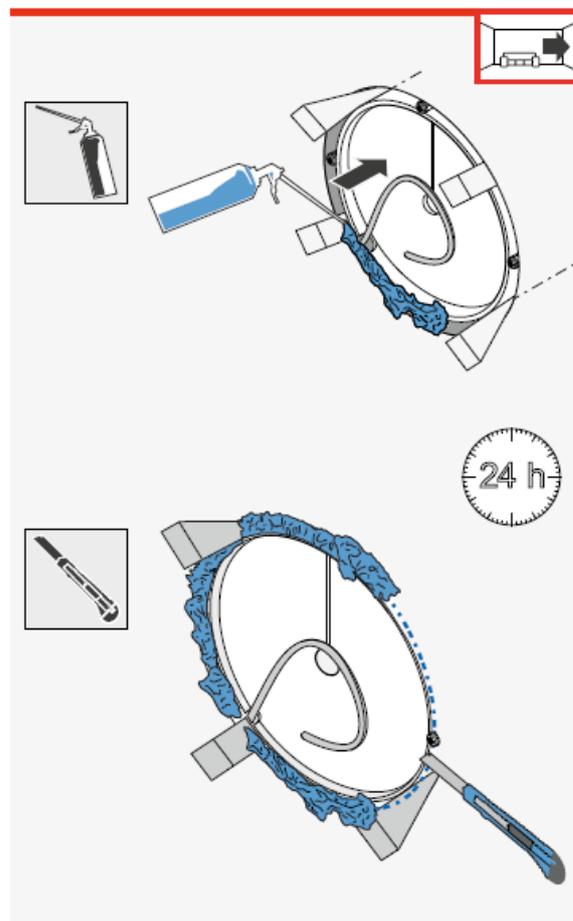


- ⑩ 固定が終わりましたら、石膏ボードとスリーブの隙間にイソシアヌレートフォーム(ウレタン断熱材)を充填してください。

※断熱材の充填は断熱欠損がでないようにしっかりと行ってください。

断熱欠損ができると熱交換効果の低下や結露、氷結の原因となります。

- ⑪ 一度セットした換気ファン・蓄熱エレメントを取り外し、再セットして挿入が可能なことをチェックしてください。



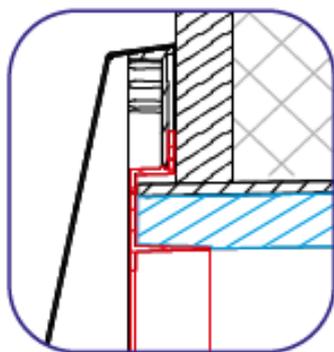
※一液性ウレタンは空気中の水分と反応して発泡します。

内壁奥まで注入すると反応する水分がなくなり未発泡のまま壁体内に残ります。

夏季などの高温時には未発泡の原液が二次発泡し、スリーブや壁面を圧迫することがありますので、注入作業は注意してください。

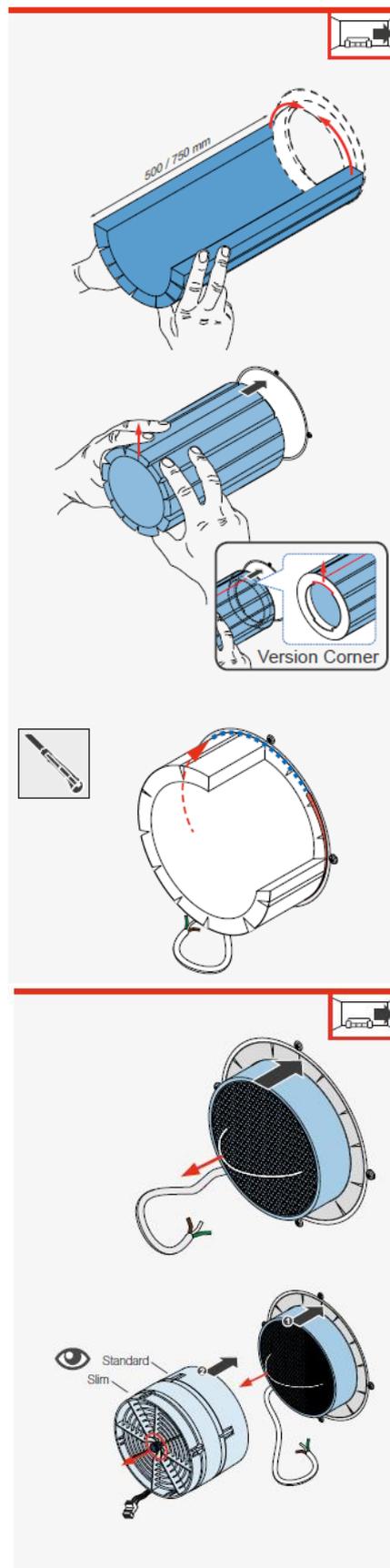
4-3-2. 本体への配線

- a. スリーブに防音パッドを取り付けます。
奥まで挿入し、余り分はカットしてください。



アウターフード側収まり

- b. 蓄熱エレメント→ファンの順に挿入し、ファンのコネクターと3芯ケーブルを接続して本体完成です。
(別紙「コントローラ施工要領書」参照)



4-4. インナーカバーの取り付け

4-4-1. インナーカバー 施工方法



インナーカバー フレア

※ご注意※

カバーを外す際は、4つあるスペーサーの外側にあるツメを必ず指で押しながら外してください。無理に外すと、スペーサーの足が折れる可能性があります。

同様に、取り付ける際もツメを押しながら取り付けてください。



押しながら外す

<施工手順>

- ① インナーカバー・カバープレート・フィルターを外します。(図 A)

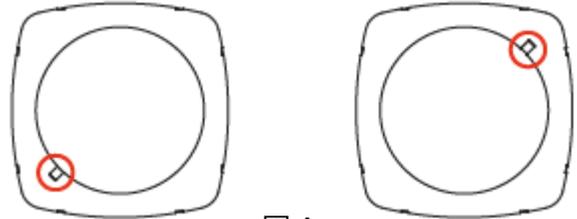


図 A

- ② カバープレートにケーブルを通します。(図 B)

- ③ 付属のレンチで、スリーブにビスでベースプレートを固定します。(図 C)

その際、緑矢印部分に矢印の記載がありますので、矢印が**上向き**になるよう取り付けてください。(図 D)

- ④ 標準フィルターを取り付けます。
フィルター周囲のラバー部分に合わせて取り付けてください。

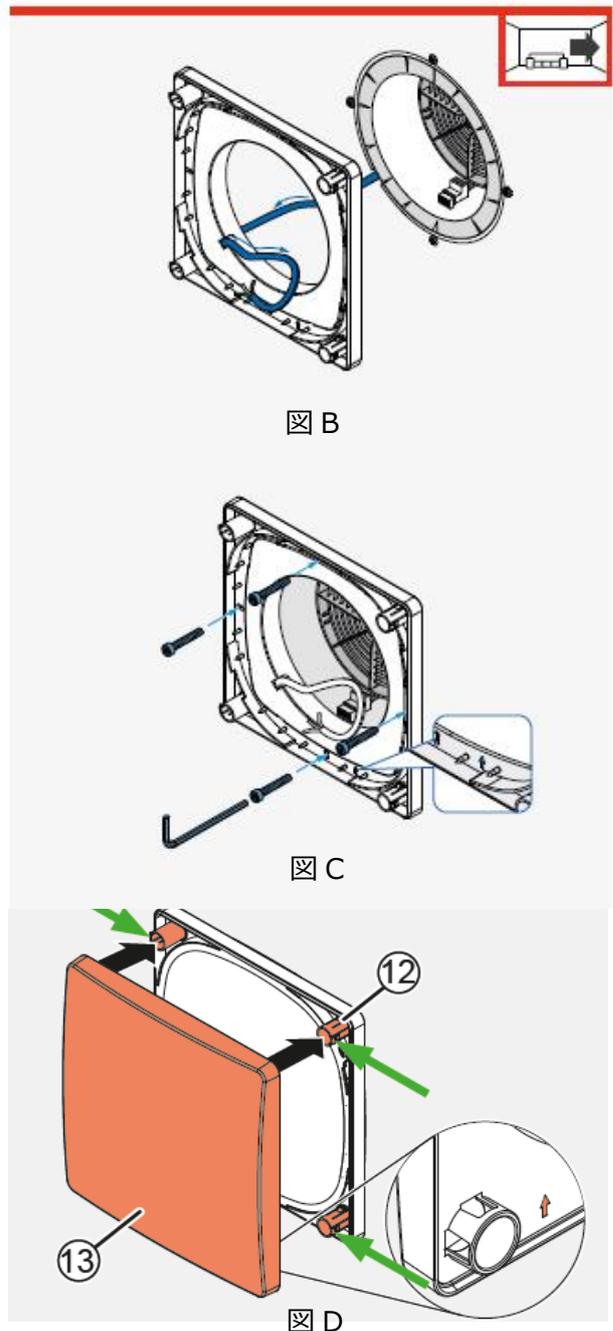
- ⑤ フィルターとベースプレートとの間に隙間が無い
か確認してください。
隙間があると、フィルターが正常に機能しません。

- ⑥ カバーをスペーサーに合わせます。

- ⑦ スペーサーのサイドのツメを押しながらはめ込み
ます。

- ⑧ 順にすべてのスペーサーを取り付けます。

- ⑨ カバーを押し閉じます。
スペーサーのツメを押すと閉めやすいです。



4-5. 外壁の断熱気密仕上げとアウターフードの取り付け

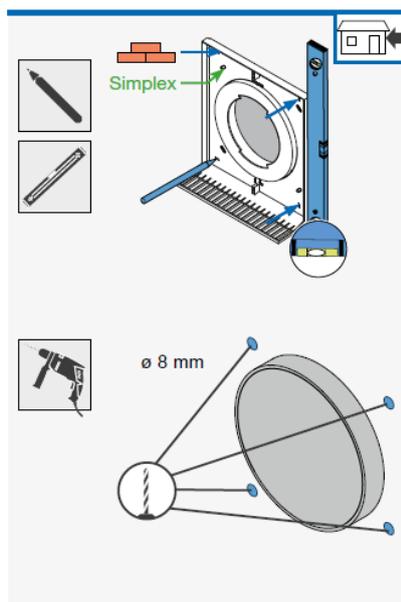
外壁施工前に、スリーブの奥に断熱材の充填、バックアップの上にシールし、さらに気密テープを施工して外気や雨滴が進入しないようにしてください。

※湿式仕上げの場合、断熱材に直接ビスで取り付けできませんので、当社支給(有償)の外断熱用断熱ピンをお使いください。

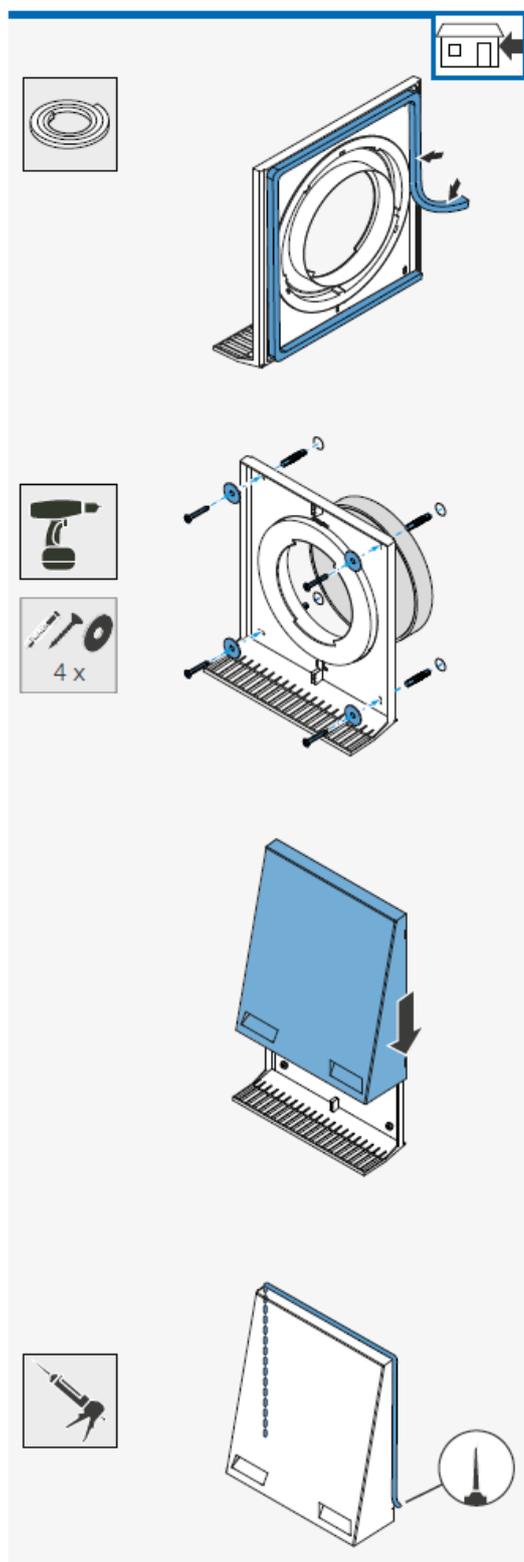
重量物用のサーマックスは構造体に直接取り付け、化学系断熱材には断熱ファスニングを断熱材に直接取り付けます。



4-5-1. アウターフードの取り付け



① 設置用ビスの穴をマークして穴を開けます。



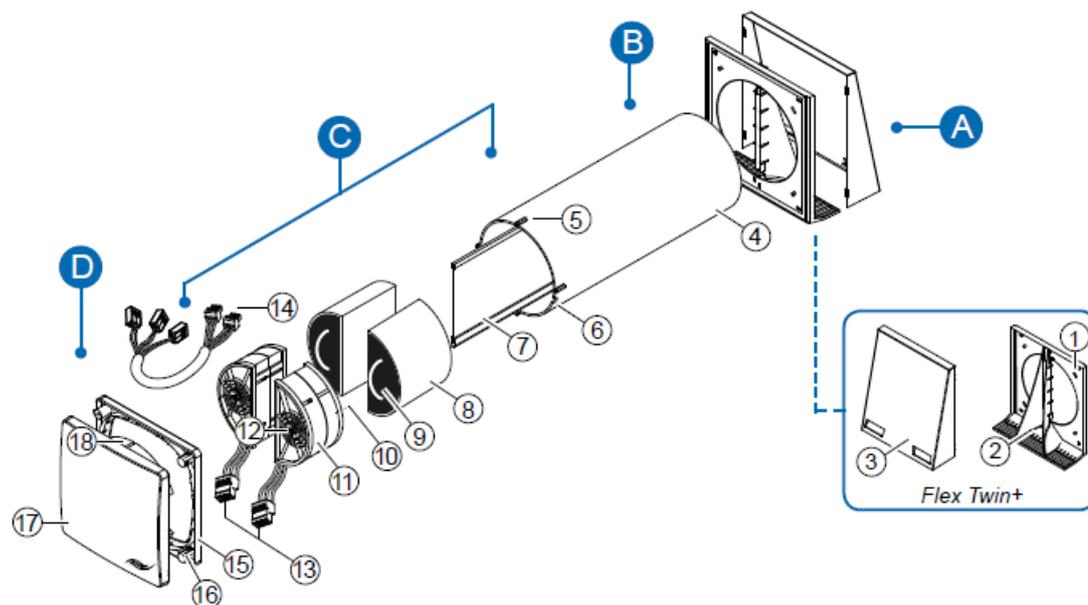
②防水パッキンをシールします。

③ビスで固定します。

④上からカバーを下ろします。

⑤周囲をシールして固定します。

5. TWIN



1. アウターフードフレーム
2. 蓄熱エレメントストッパー
3. アウターフード カバー
4. スリーブ管
5. インナーカバー固定用ビス
6. 配線用かき込み
7. スリーブセパレーター
8. 蓄熱エレメント
9. 熱交換素子
10. フィルター
11. ファン
12. ファンモーター
13. コネクター(配線接続端子)
14. コネクター(分岐ユニット)
15. インナーカバーフレーム
16. スパースー
17. インナーカバー
18. カバープレート

5-1. 部品の詳細

予告なしに部品形状が変わることがあります。

1a. アウターフード・カバー

1b. アウターフードフレーム

1f. アウターフード用ビス

1g. シーリングテープ

2. スリーブ

2a. 歪み防止用 EPS

2b. 本体固定用 EPS クサビ

3. スリーブ内部パーツ

3a. セパレーター

3b. 蓄熱エレメント

3c. ファン

3d. コネクター(配線接続端子)

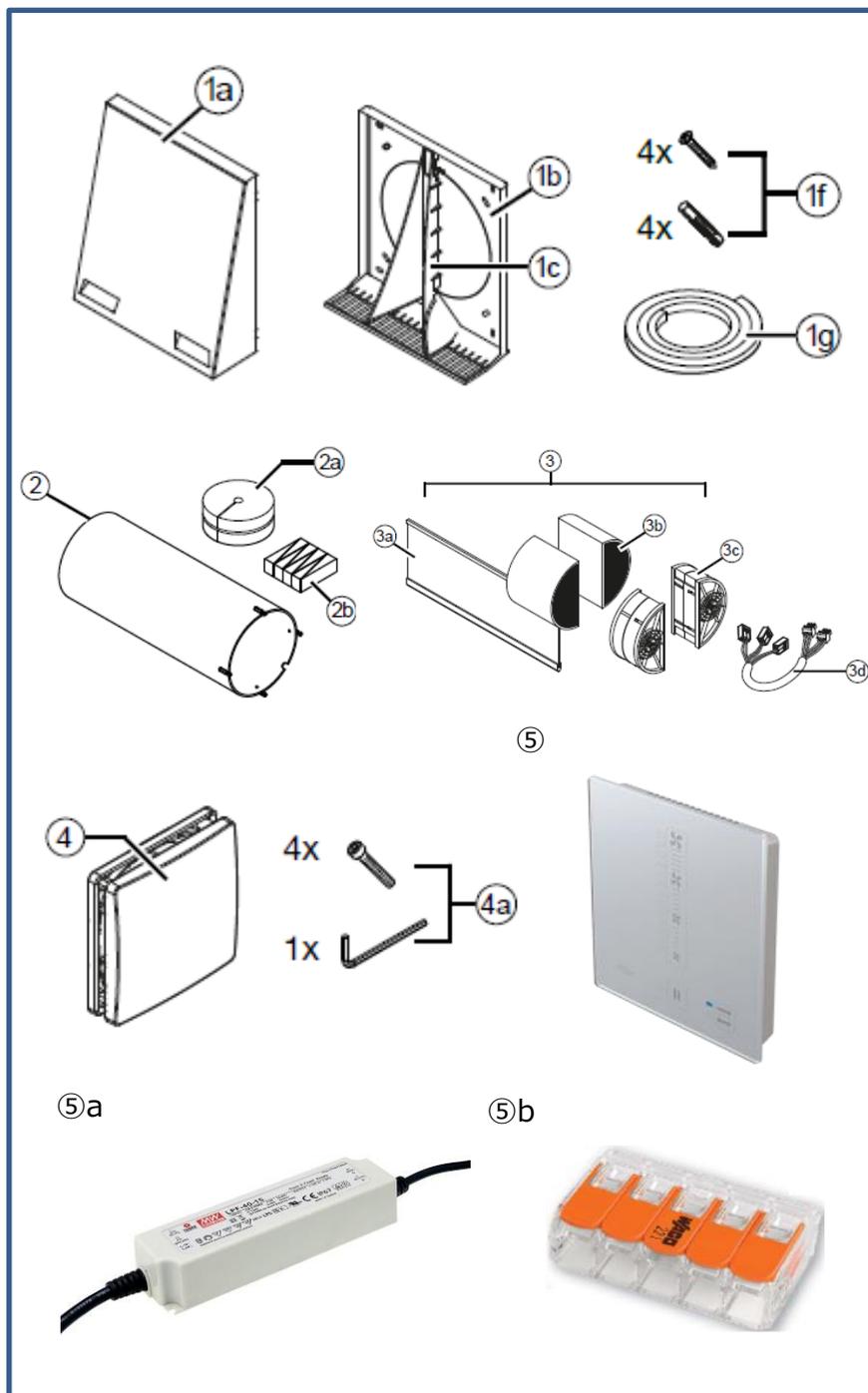
4. インナーカバー(TWIN 専用)

4a. ビス

5. コントローラ sMove

5a. 直流安定化電源

5b. ワンタッチコネクター



5-2. ケーブルの配線

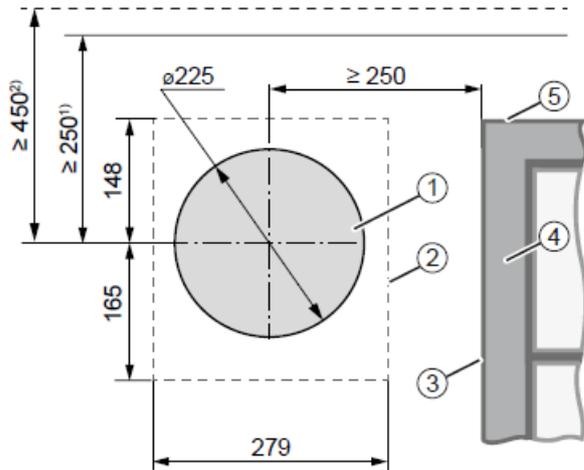
同送しているコントローラ施工要領書をご確認ください。

5-3. スリーブ

5-3-1. スリーブの設置場所の決定

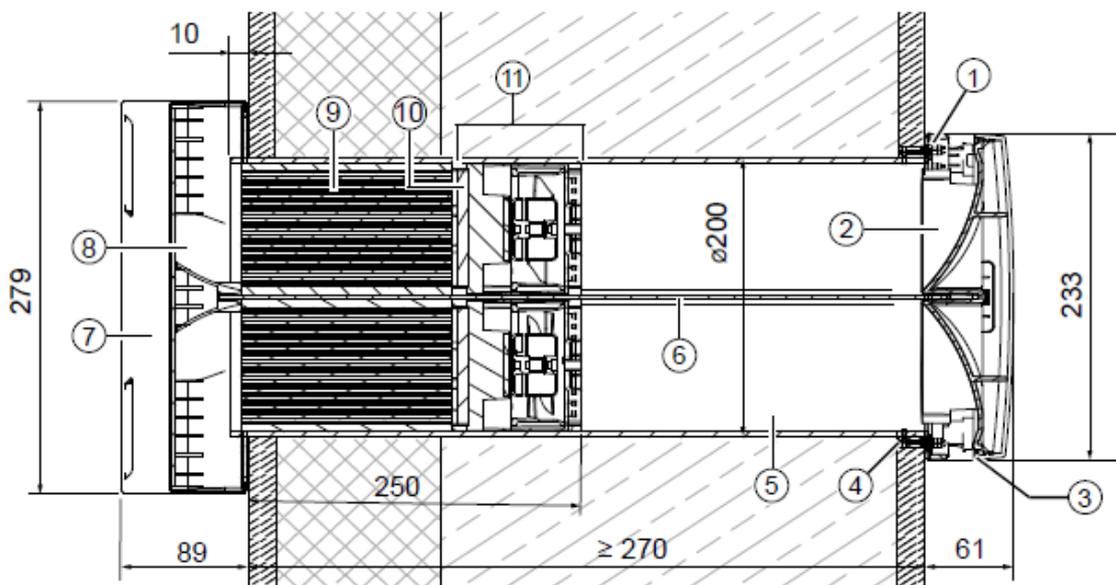
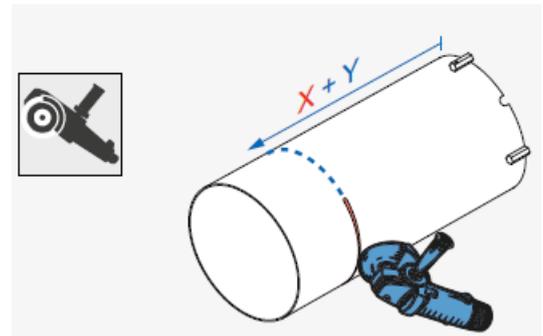
高さ：FL+1,800 mm以下を推奨します。

メンテナンス時に手が届く範囲での設置を推奨しています。



5-3-2. スリーブの長さ

495 mmあるスリーブは、室内側石膏ボード面から、外壁面までの長さプラス 10 mmでカットしてください。



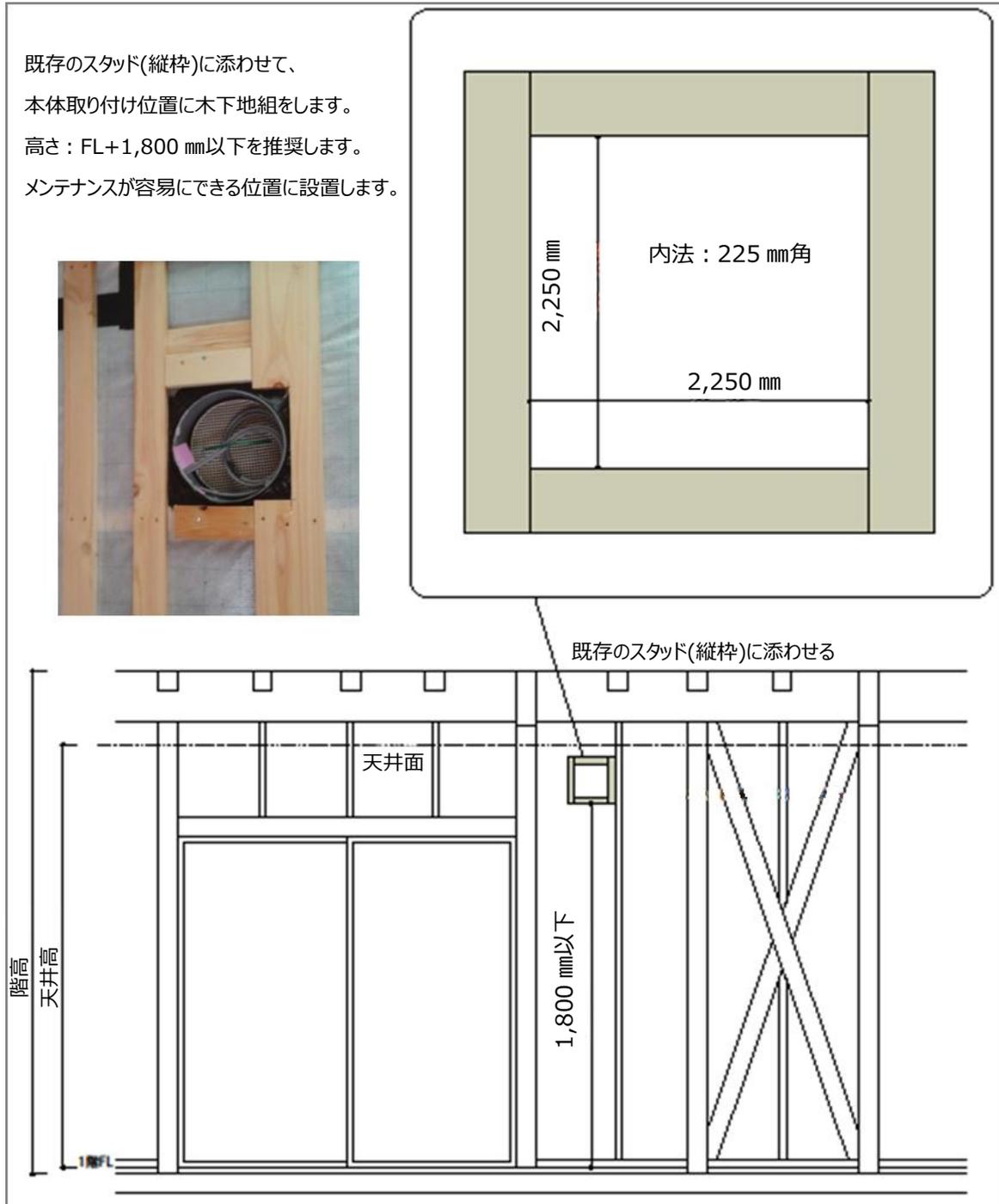
5-4. ヴェントサン本体の設置

5-4-1. 本体設置(木下地組)

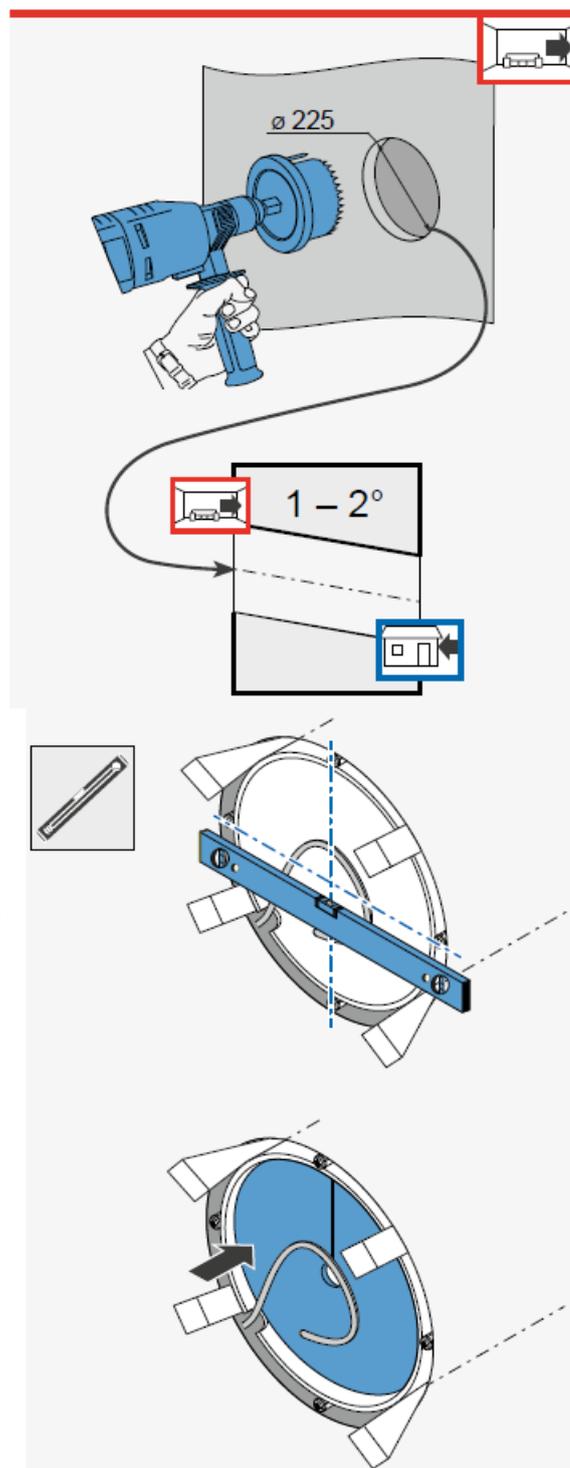
- ① 施工前に、各ヴェントサン設置箇所に配線をしておいてください。

(別紙「コントローラ施工要領書」参照)

間柱に添わせて、本体取り付け位置に木下地組をします。(内法：225 mm角以上)



- ② 3 芯配線を木下地組とスリーブの間から出るようにします。
スリーブに欠き込みがされている箇所にケーブルを通します。
- ③ 勾配(1-2%)をつけて位置を決定し、外壁構造用合板にφ225 mm以上の穴を開けます。
- ④ スリーブの欠き込みがある方を室内側にして差し込みます。
- ⑤ **スリーブは室内側仕上げ面と同じにし、外壁面から 10 mm 出してください。**
- ⑥ スリーブ周囲の断熱工事として木枠内部にイソシアヌレート(ウレタン)フォームを充填して、気密処理をする際に、スリーブの固定用ナットが平行になるように確認してください。
- ⑦ スリーブの位置を確認し、内壁石膏ボードに 22 mm 角の穴を開けます。
- ⑧ 再度平行器でインナーカバー固定用ナットを平行にし、2b 本体固定用の EPS クサビで対角の 4 か所にスリーブを固定します。
- ⑨ 2a 歪み防止用 EPS をスリーブに挿入して、ウレタンの充填でスリーブが歪まないようにします。

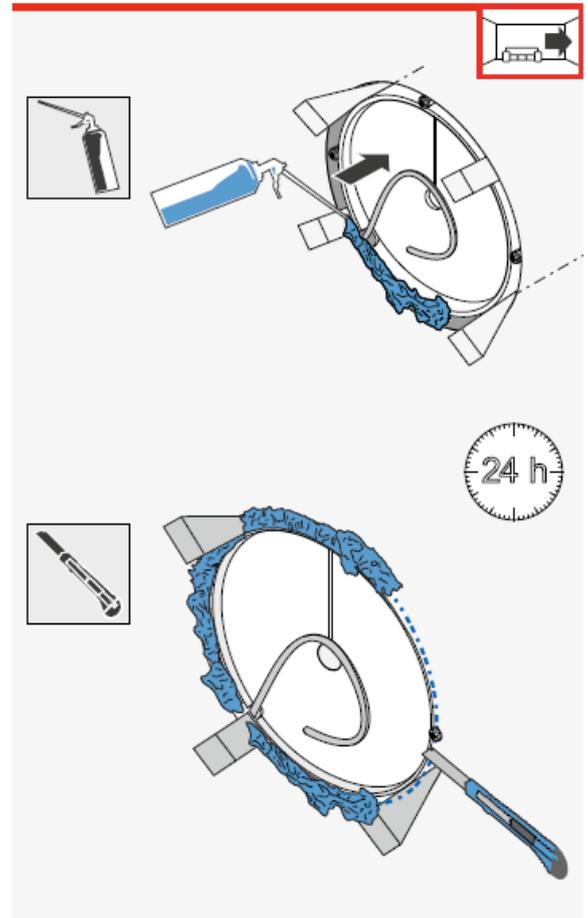


- ⑩固定が終わりましたら、石膏ボードとスリーブの隙間にイソシアヌレートフォーム(ウレタン断熱材)を充填してください。

※断熱材の充填は断熱欠損がでないようにしっかりと行ってください。

断熱欠損ができると熱交換効果の低下や結露、氷結の原因となります。

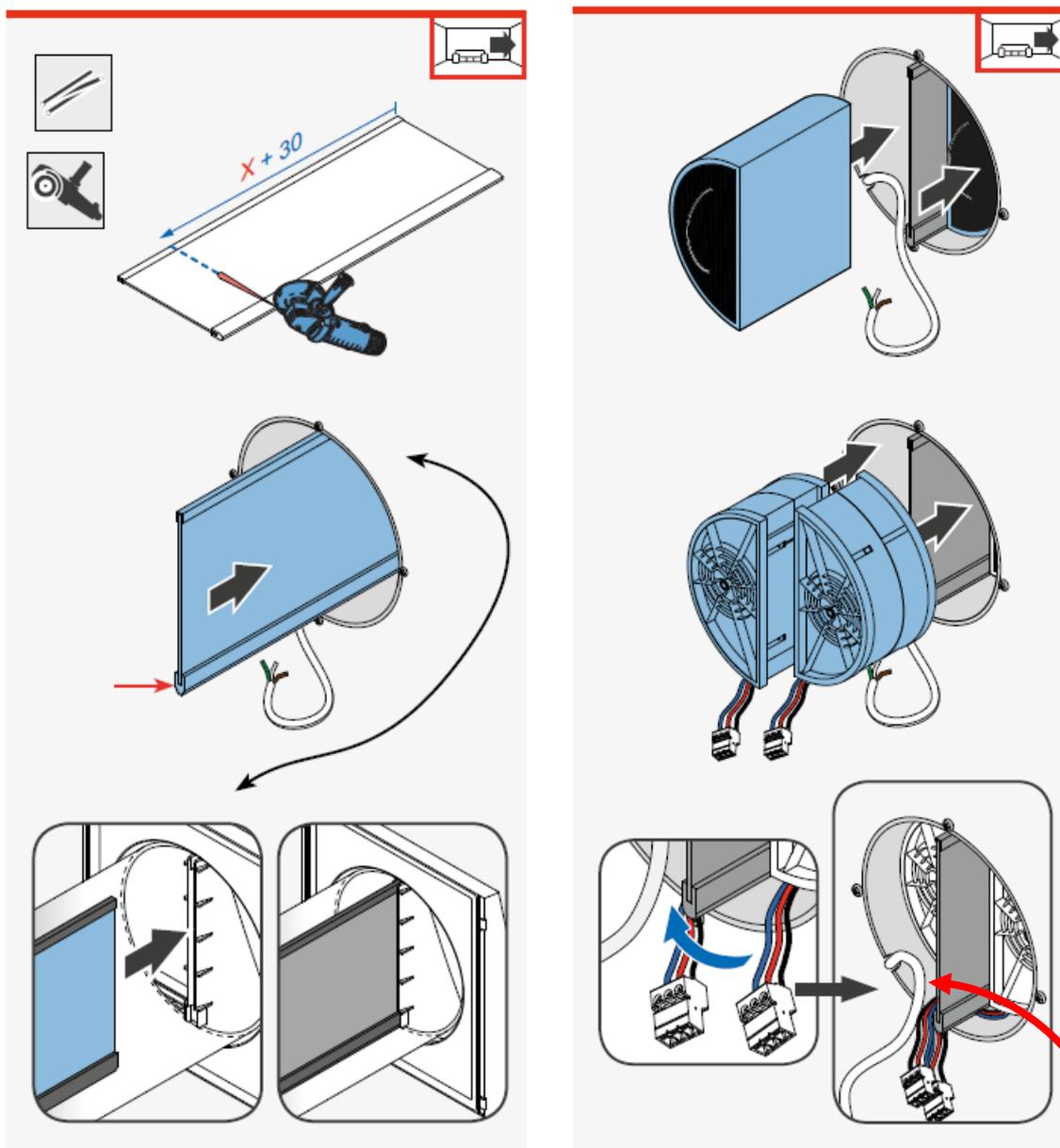
- ⑪一度セットした換気ファンと蓄熱エレメントを取り外し、再セットして挿入が可能なことをチェックしてください。



※一液性ウレタンは空気中の水分と反応して発泡します。

内壁奥まで注入すると反応する水分がなくなり未発泡のまま壁体内に残ります。夏季などの高温時には未発泡の原液が二次発泡し、スリーブや壁面を圧迫することがありますので、注入作業は注意してください。

5-4-2. スリーブ内部取り付け



セパレーターを壁厚プラス 30 mm でカットしスリーブに挿入。蓄熱エレメントを挿入しファンを挿入

配線ケーブルを、セパレーターの下から左側(配線用かき込みがある方)に寄せてください。

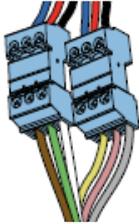
- a. 蓄熱エレメント→ファンの順に挿入し、ファンのコネクタと3芯ケーブルを接続して本体完成です。(別紙「コントローラ施工要領書」参照)

5-5. 給・排気の初期設定

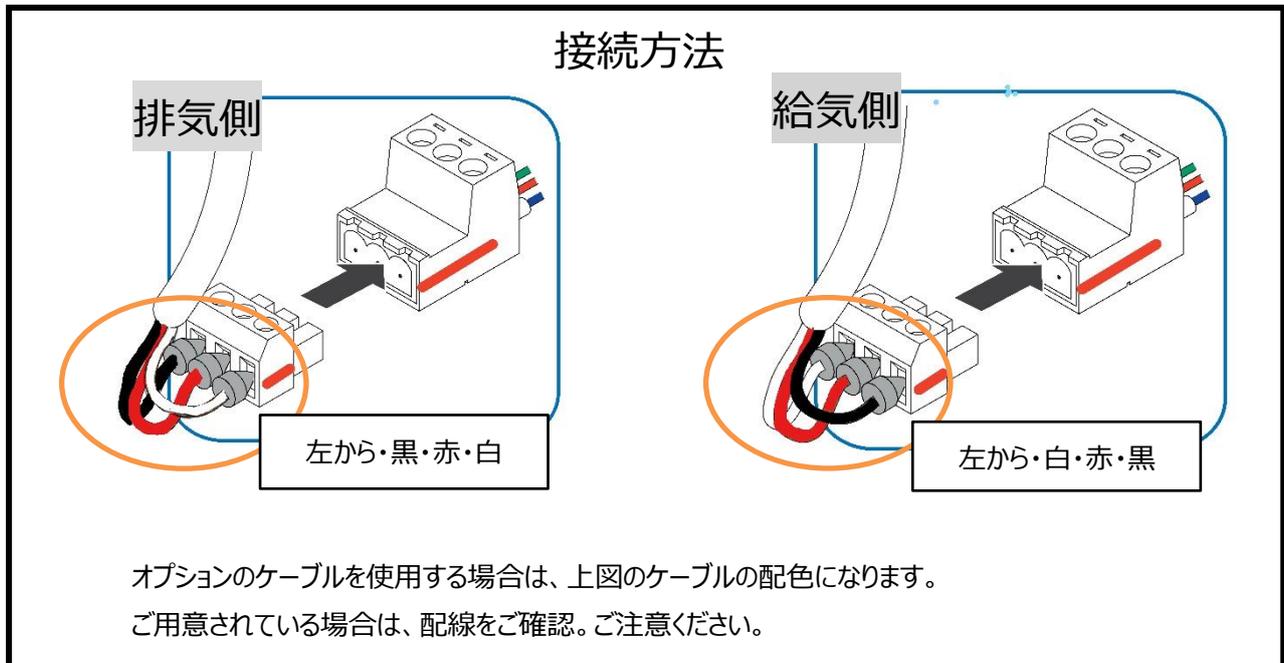
最重要項目

ヴェントサンは 2 個のファンが 1 ペアとなって、給排気が切り替わります。

一方が給気動作しているときは、他方は排気の動作をするように配線する必要があります。



2つのコネクタは、給気と排気に逆配線してください。



※接続方法を誤るとファンは運転を開始しても正しく機能せず、換気量が不足する恐れがあります。

5-6. インナーカバーの取り付け

インナーカバーは開閉可能です。

換気装置の使用を停止する時はカバーを閉めてください。

熱交換換気の効果がある程度維持されますので、室内温度の変化を遅らせることができます。

5-6-1. インナーカバーの取り外し

※ご注意※

カバーを外す際は、4つあるスペーサーの外側にあるツメを指で押しながらか取り外してください。

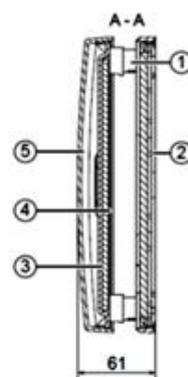
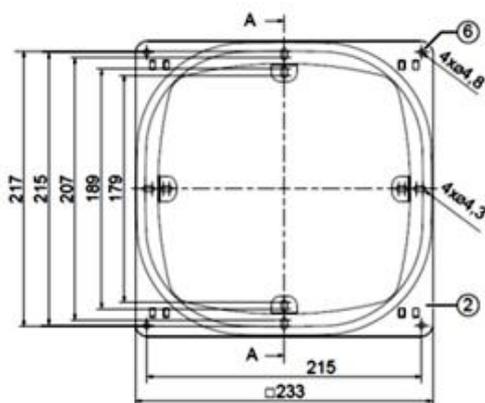
無理に外すと、スペーサーの足が折れる可能性があります。

同様に、取り付ける際もツメを押しながらか取り付けてください。

突起部を押しながらか外すことで容易に取り外しが可能です。

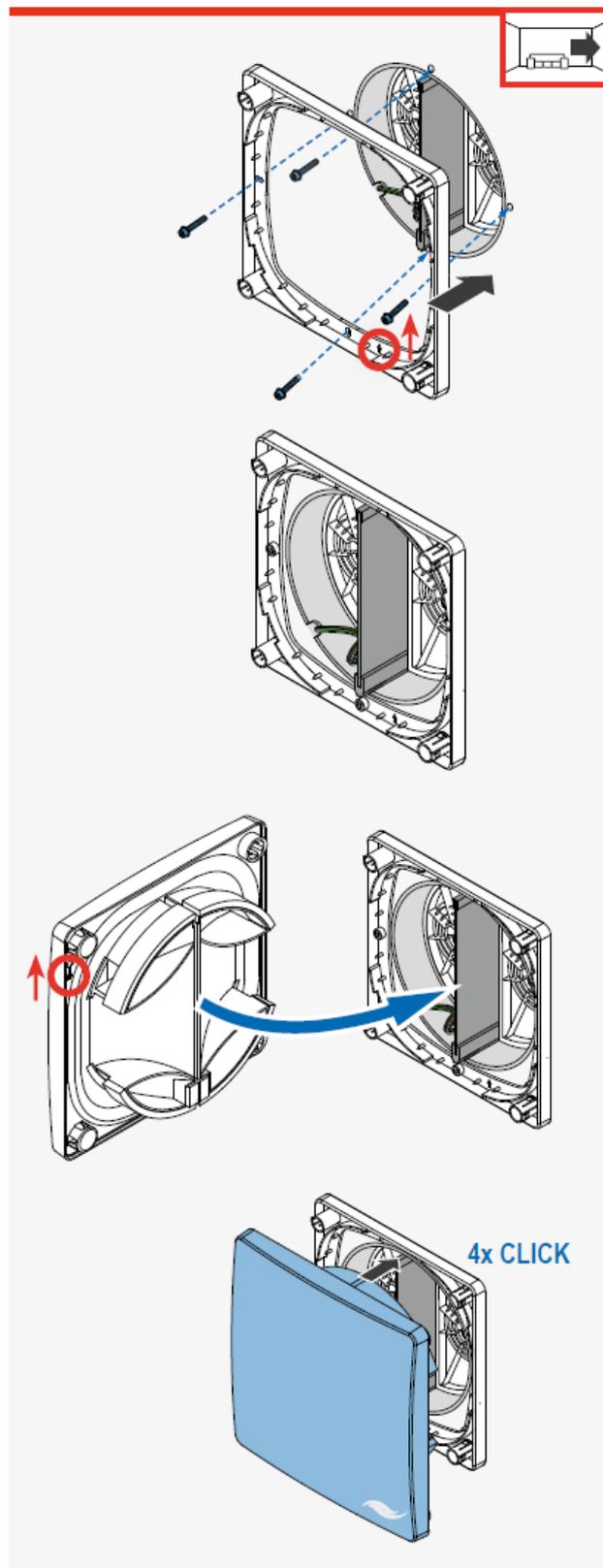


5-6-2. インナーカバー(TWIN 専用) 施工方法



＜施工手順＞

- ① カバーを外します。
- ② 付属のレンチでスリーブにビスでベースプレートを固定します。
- ③ 右図下矢印部に矢印の記載があります。矢印が上向き矢印になるよう取り付けてください。
- ④ カバーをセパレーターに合わせて取り付けます。
- ⑤ カバーを押して閉じます。スペーサーのツメを押すと閉めやすいです。

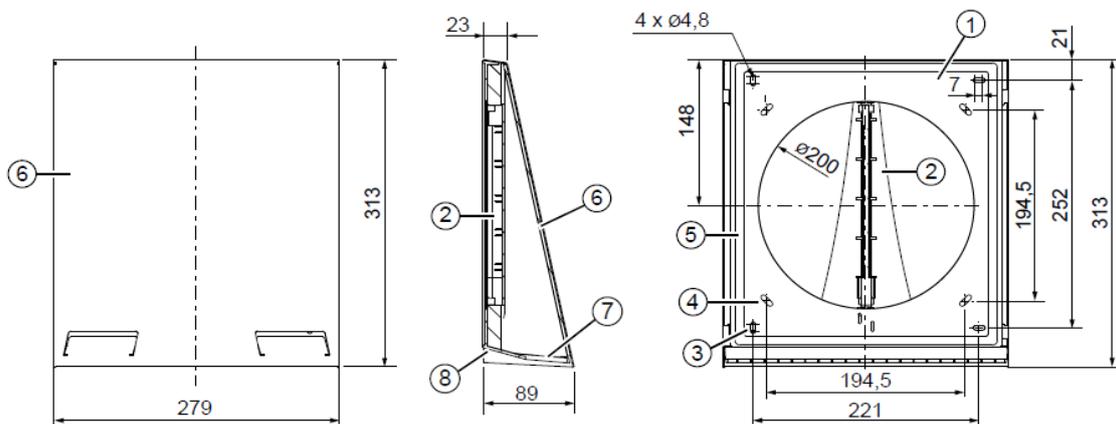


5-7. 外壁の断熱気密仕上げとアウターフード各種の取り付け

外壁施工前に、スリーブの奥に断熱材の充填、バックアップの上にシーリングし、さらに気密テープを施工して外気や雨滴が進入しないようにしてください。

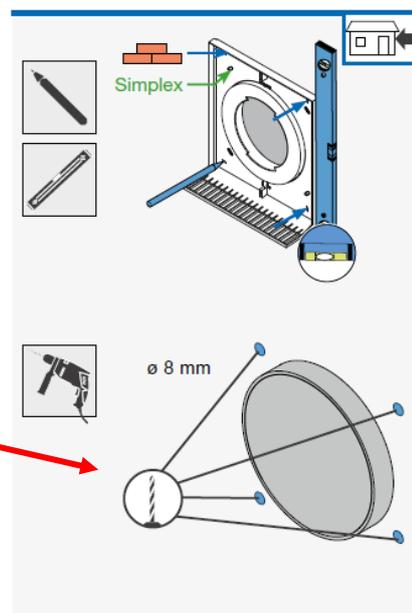
※湿式仕上げの場合、断熱材に直接ビスで取り付けできませんので、当社支給(有償)の外断熱用断熱ピンをお使いください。
重量物用のサーマックスは構造体に直接取り付け、化学系断熱材には断熱ファスニングを断熱材に直接取り付けます。

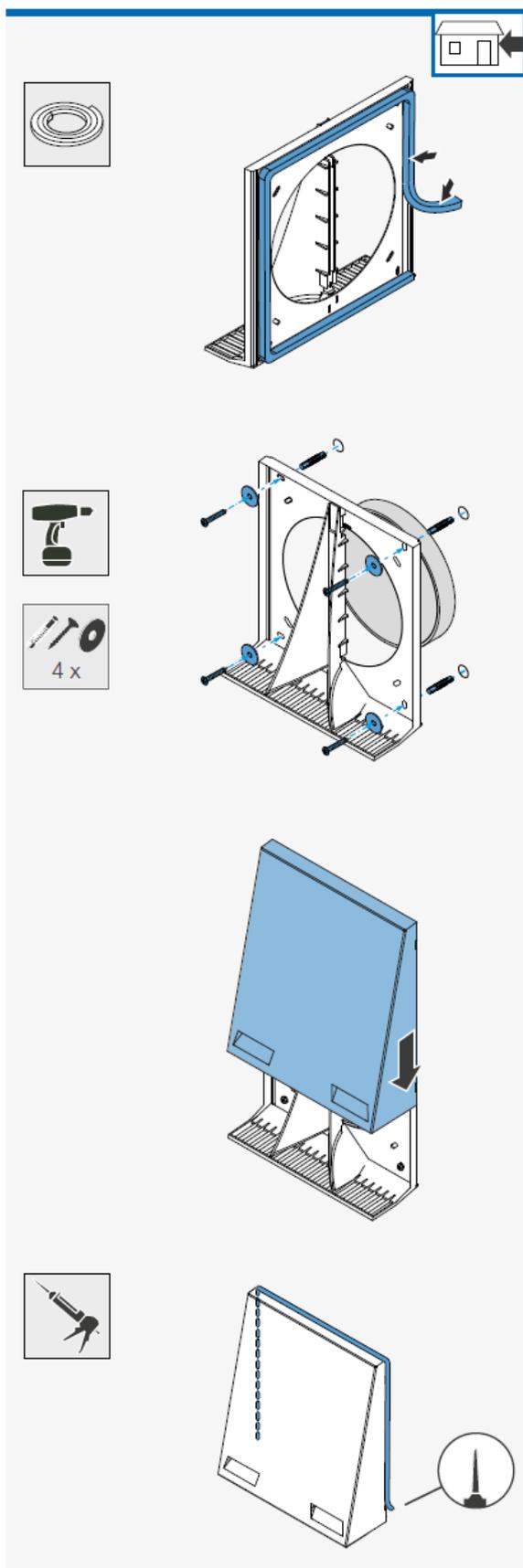
5-7-1. アウターフードの取り付け



1. ベースプレート
2. セパレーターブレード
3. ビス穴
4. ベースプレート
5. 防水パッキン取付位置
6. カバー
7. 開口部
8. 水切り

①設置用ビスの穴をマークして穴を開けます。





① 防水パッキンをシールします。

② ビスで固定します。

③ カバーを上から下ろします。

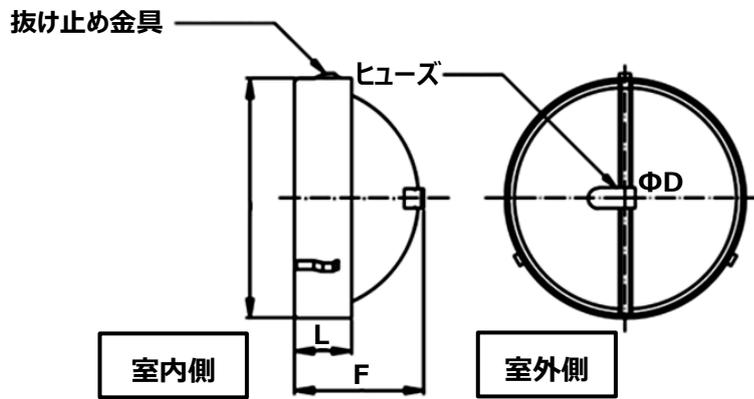
④ 周囲をシーリングして固定します。

6. 防火仕様

防火仕様の場合、スリーブの周囲にステンレススリーブを取り付け、ステンレススリーブの内側の耐火繊維に防火ダンパーを取り付けます。

6-1. 防火ダンパーの構造

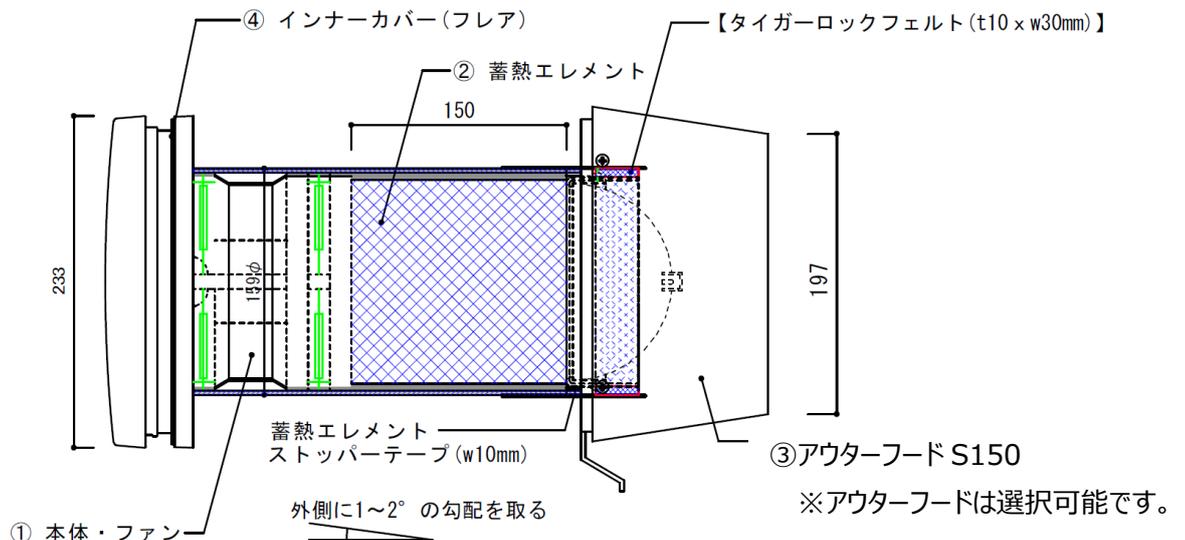
防火ダンパーは、ダクト配管を通して火災が広がるのを防止する構造になっています。
この製品の性能・機能を十分発揮させ、また安全を確保するために正しい取付工事が必要です。
取付工事後は必ず、温度ヒューズが正常に取付けられているか確認してください。



寸法(mm)		
D	F	L
147	83	35

6-2. JW SP 防火仕様の施工方法

SP(S150)防火仕様 断面図

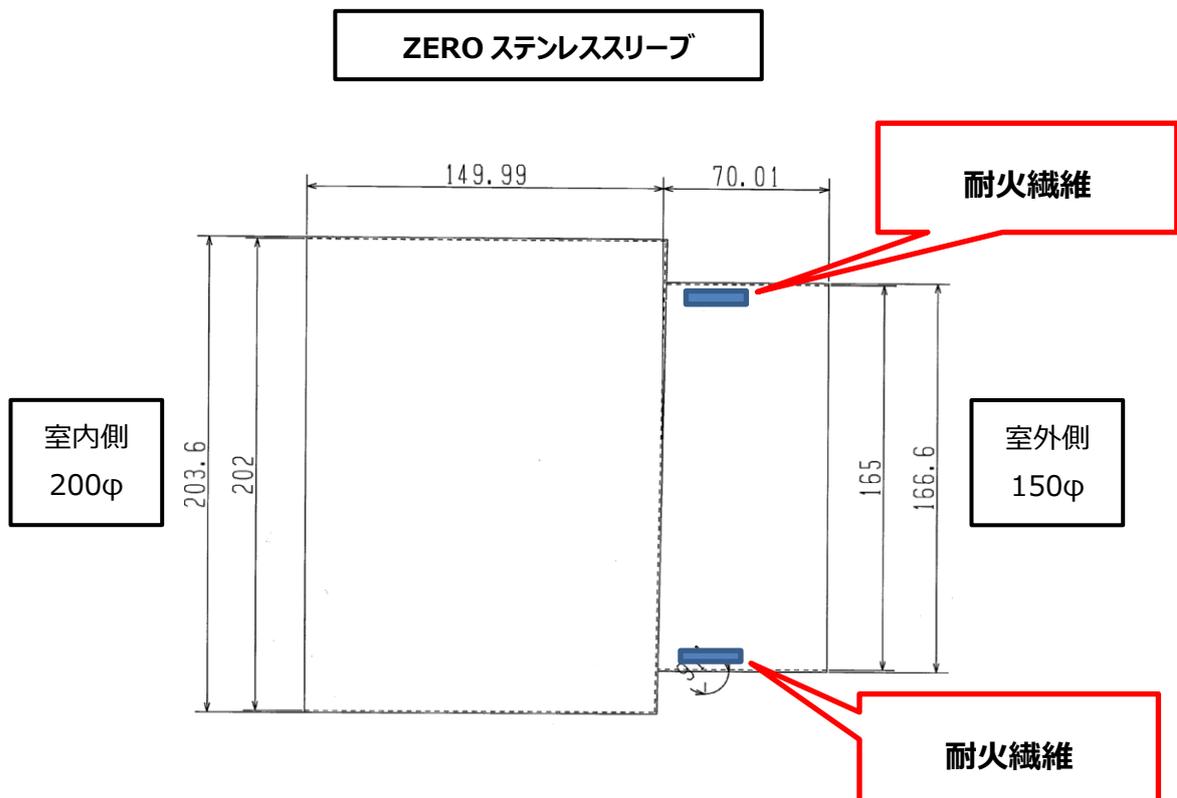


- ① ステンレススリーブを樹脂スリーブから約 50 mm 室外側にずらして取り付けます。
- ② ダンパーに付属の温度ヒューズを取り付けてください。
- ③ スリーブ固定後、ステンレススリーブ室外側の耐火繊維に防火ダンパーを挿入します。
- ④ 必要に応じて防火ダンパー周囲をシールしてください。
- ⑤ 最後にアウターフードを取り付けます。

6-3. ZERO 防火仕様の施工方法

ZERO の防火仕様の場合、アウターフードはコンパクト XL のみになります。

- ① スリーブは総壁厚と同じ長さでカットし、付属のステンレススリーブを外部側に接続します。
- ② ダンパーに付属の温度ヒューズを取り付けてください。
- ③ スリーブ固定後、室外 150φ側の耐火繊維に防火ダンパーを挿入します。
- ④ 必要に応じて防火ダンパー周囲をシールしてください。
- ⑤ 最後にアウターフードを取り付けます。



7. テクニカルデータ

VENTOsan®

インプット電圧	24V
インプット電流	最大180mA
電力消費量	1-4.7Wh
セラミック蓄熱エレメント寸法	JW 100mm / 外径 = Φ153
	SP,ZERO 150mm / 外径 = Φ153
	TWIN 150mm / 外径 = Φ200半円
騒音値	JW 最大41dB(A)
	SP 最大36dB(A)
	ZERO 最大29dB(A)
	TWIN 最大44dB(A)
換気量	最大29m ³ /h
運転時の温度範囲	-20~50℃

VENTOsan®スリーブ管(ダクト)

JW・SP 寸法(mm)	長さ = 250,300,500 / 外径 = Φ165 / 内径 = Φ154
ZERO・TWIN 寸法(mm)	長さ = 495 / 外径 = Φ205 / 内径 = Φ200

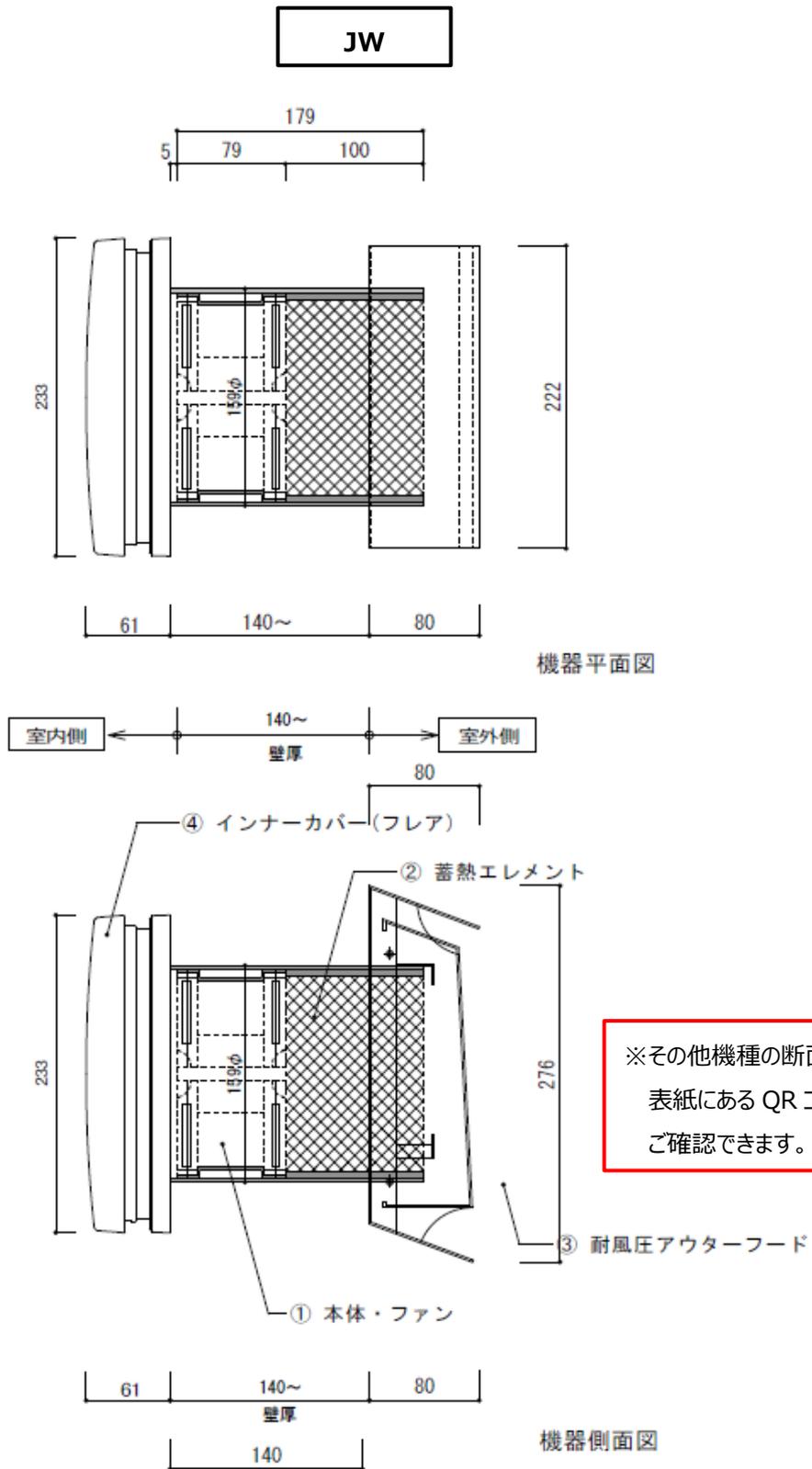
インナーカバー

フレア	寸法(mm)	縦 = 233 / 横 = 233 / 奥行き = 60
-----	--------	------------------------------

アウターフード

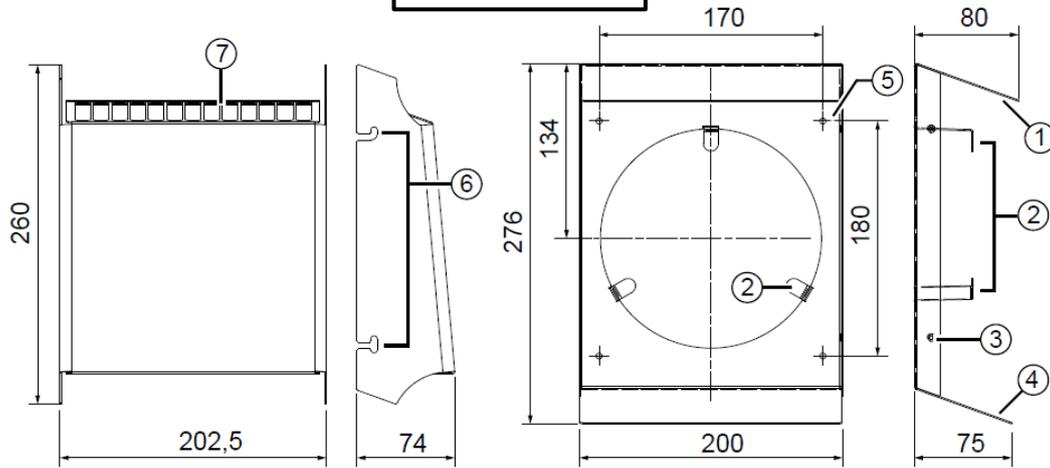
S150	寸法(mm)	縦 = 224 / 横 = 296 / 奥行き = 98
コンパクト	寸法(mm)	縦 = 285 / 横 = 222 / 奥行き = 80
コンパクト XL	寸法(mm)	縦 = 344 / 横 = 235 / 奥行き = 135
フレックス150、200、TWIN	寸法(mm)	縦 = 313 / 横 = 279 / 奥行き = 88

8. 断面図

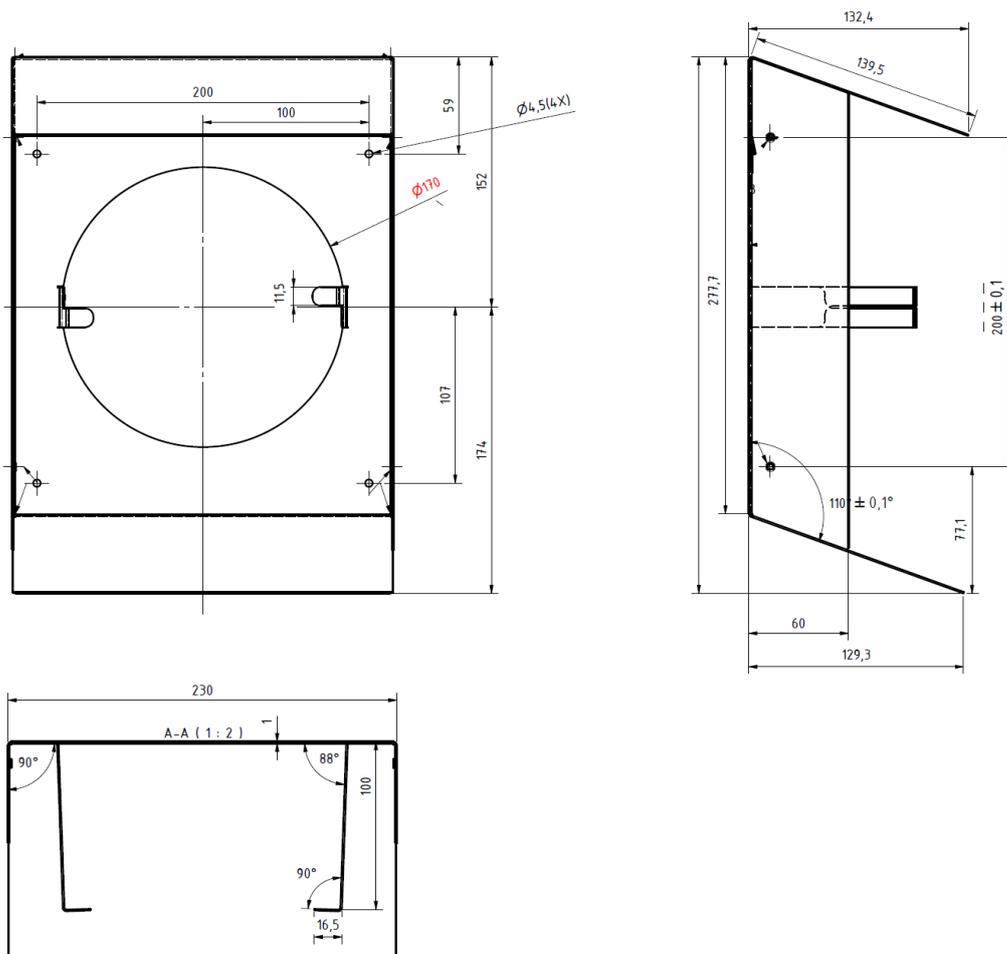


9. アウターフード各種図面

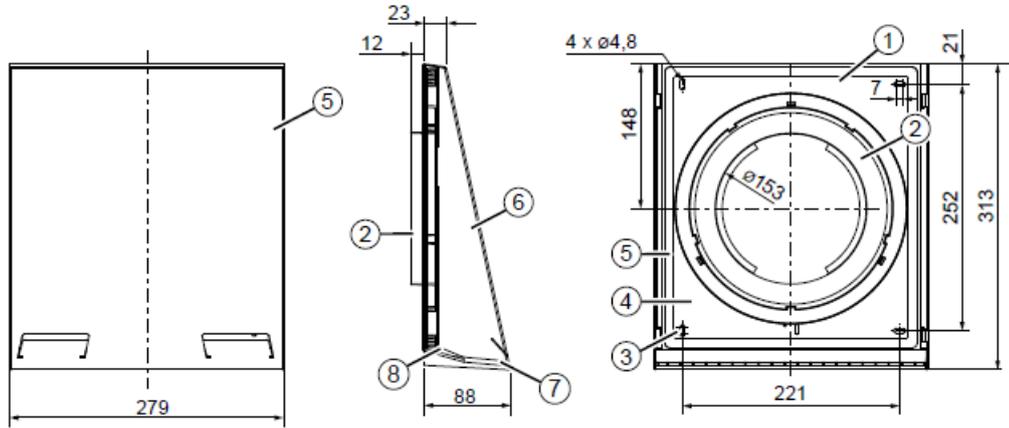
コンパクト



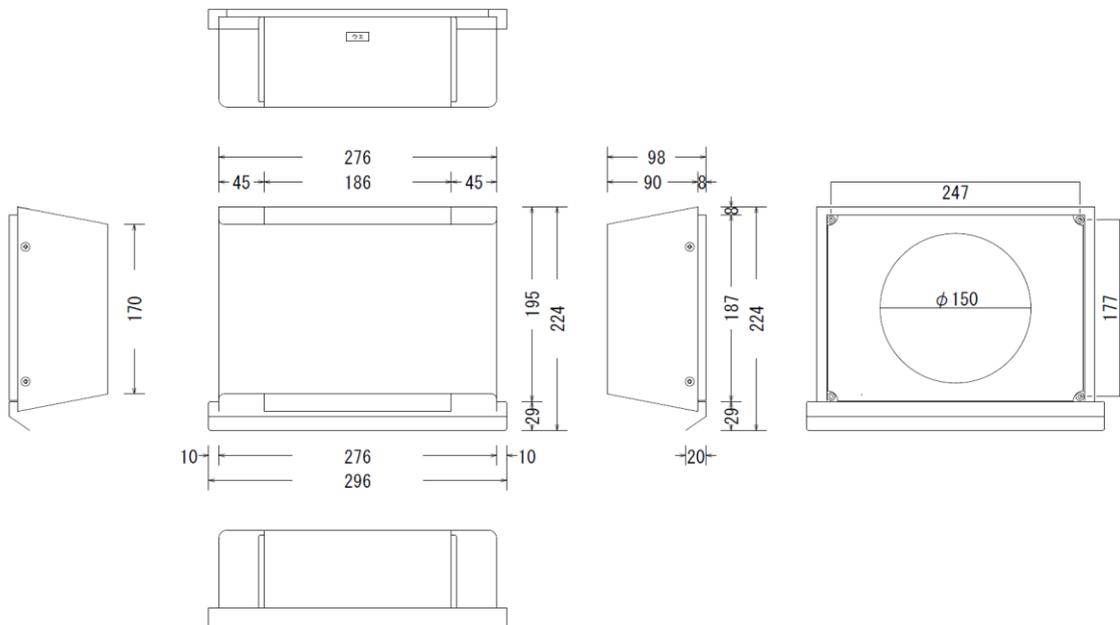
コンパクト XL



フレックス 150・フレックス 200



S150



MEMO

MEMO

MEMO

VENTOsan[®]はインヴェンター社の登録商標です。

- 本書に記載されている内容はハード及びソフトウェアと一致しているか点検済みですが、内容に全く逸脱が無いわけではありませんので、完全な一致は保証いたしかねます。
また、本書は不定期に更新されます。更新された要領書は常に後続版で入手が可能です。
- この要領書に記載されている安全規定はすべて遵守してください。

日本 総販 売代 理店	 <p>エディフィス省エネテック株式会社</p> <p>〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-32-3 三鷹産業プラザアネックス</p> <p>TEL: 0422-26-6922 eFAX: 03-6740-1943</p> <p>E-Mail: contact@edfs.co.jp https://edfs.co.jp/</p> 
販 売 店	